



# CATEYE STRADA SMART

CYCLOCOMPUTER CC-RD500B

## オンラインマニュアル



ご使用になる前にこのオンラインマニュアルを最後までよくお読みいただき本器の機能を十分にご理解の上、安全に正しくご使用ください。



### セットアップ

(はじめにご覧ください)



お持ちの機器を選んでください。



スマートフォンとストラダスマート



ストラダスマートのみ



スマートフォン(アプリのみ)

※ お持ちの機器により使用方法が異なります。

※ 本マニュアルの説明上、ストラダスマート画面の赤表記は点滅を表します。

※ 本製品のオンラインマニュアルおよびYouTubeムービーは予告なく変更することがあります。

## セットアップ方法



スマートフォンをお持ちの方



スマートフォンをお持ちでない方

## セットアップ方法

### スマートフォンをお持ちの方

#### ▶ ストラダスマートを購入している場合

梱包内容の確認

セットアップ (初回のみ)

ブラケットの取付け

#### ▶ まだ購入していない場合

セットアップ (初回のみ)

#### ▶ オプション部品

スピードセンサーの取付け (ISC-12)

心拍センサーの装着 (HR-12)

※ 他社製センサーは、その取扱説明書に従って取付けてください。

スマートフォンをお持ちの方

梱包内容の確認



ストラダスマート



ブラケットバンド



ブラケット



ブラケットゴムパッド



ダイヤル

- ※ スピード+ケイデンスキットには、上記梱包品のほかスピードセンサー（ISC-12）が付属します。
- ※ トリプルワイヤレスキットには、上記梱包品のほかスピードセンサー（ISC-12）と心拍センサー（HR-12）が付属します。

セットアップ

ブラケットの取付け

## スマートフォンをお持ちの方

### 梱包内容

### セットアップ

#### スマートフォンで

セットアップにはスマートフォン用アプリ「Cateye Cycling™」（無料）を使用します。

## 1. Cateye Cycling™をインストールします

-  iPhoneをご使用の方  
App Storeにアクセスし、[Cateye Cycling] を検索して、インストールします。
-  Androidスマートフォンをご使用の方  
Google playにアクセスし、[Cateye Cycling] を検索して、インストールします。

※ Cateye Cycling™の対応機種については、[製品ページ](#)よりご覧ください。



## 2. Cateye Cycling™を起動します

画面に従ってGPS、Bluetooth®機器の使用を許可してください。

### 重要

スマートフォンのBluetooth設定をオンにするとデバイスの検出が始まりますが、ここでは設定しません。Cateye Cycling™に切替えてから次の手順に従ってください。

基本事項の設定が完了するとトリップ画面を表示します。

## 3. ストラダスマートやセンサーとペアリングを行います

### 重要

- ・ ストラダスマートやセンサーの使用には、必ずペアリング（ID照合）が必要です。
- ・ ペアリングは、レース会場など複数の使用者がいる場所では行わないでください。他の機器とペアリングする恐れがあります。

画面左上の （メニュー）から [接続] をオンにして、[接続機器] をタップします。



[ペアリング] をタップするとペアリングを開始します。  
それぞれの機器の操作方法は、以下をご覧ください。

## ストラダスマートとのペアリング

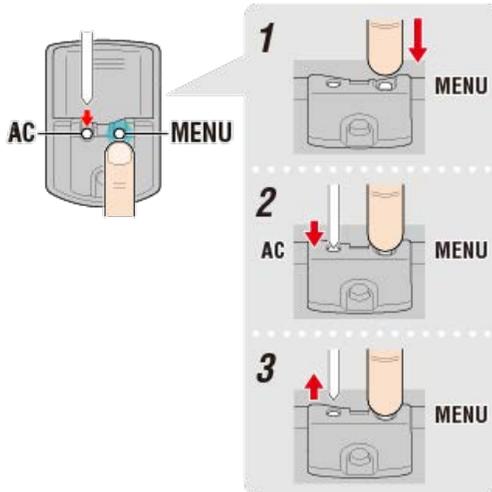
### ストラダスマートで

#### 1. ストラダスマートをフォーマット（初期化）します

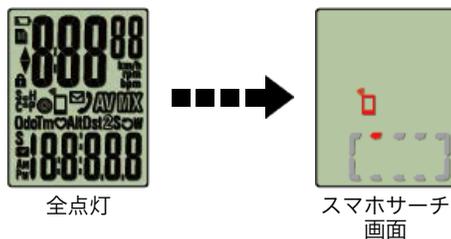
##### 注意

すべてのデータが消去され、工場出荷状態に戻ります。

ストラダスマートの**MENU**を押しながら**AC**を押します。



画面が全点灯した後、スマホサーチ画面に切替ります。



※ 画面が全点灯せずに計測画面に切替る場合はフォーマットできていません。再度お試ください。

※ ストラダスマートの画面はCateye Cycling™の状態により異なります。

### スマートフォンで

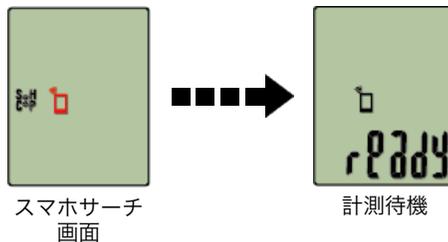
Cateye Cycling™がストラダスマートを検出するとスマートフォンにメッセージを表示します。

[ペアリング] をタップしてペアリングを完了します。

ペアリング完了後、画面左上の  (メニュー) から [トリップ] をタップしてトリップ画面に切替えます。

## ストラダスマートで

ペアリングが完了するとストラダスマートはスマホサーチ画面から [ready] (計測待機) 表示に切替ります。



以上でストラダスマートのペアリングは完了です。

※ センサーをお持ちの場合は引き続き、センサーのペアリングを行なってください。

## センサーとのペアリング

ストラダスマートは、Bluetooth 4.0規格に対応したセンサーを使用します。利用目的に応じてオプションまたは他社製センサーとペアリングしてください。

### 重要

- ・ 使用するセンサーはすべてペアリングしてください。  
他のセンサーをペアリングする場合は、同じ手順を繰り返します。
- ・ iPhoneと他社製センサーを使用している場合  
センサーダイレクトモードで計測する際はスマートフォンの設定後、以下の手順でストラダスマートのペアリング、タイヤ周長を再設定する必要があります。

-  1. センサーダイレクトモードの切替
2. ペアリング (センサーID照合)
3. タイヤ設定

## 1. センサー信号を発信させます

### センサー信号の発信方法

Cateye Cycling™がセンサー信号を受信するとスマートフォンにメッセージを表示します。

[ペアリング] をタップすると [接続機器] に照合したセンサー名を表示し、ペアリングが完了します。

※ スピード計測可能なセンサーをペアリングした場合は手順2に進みます。

## スマートフォンで

## 2. タイヤ周長を設定します

[接続機器] から追加されたセンサーをタップして、タイヤ周長 (タイヤの外周長) を選択します。

※ 初期値: 2096 mm (700x23c)

※ タイヤ周長はセンサー毎に設定が必要です。

※ センサー名の変更やペアリング解除もここで行えます。

### タイヤ周長の求め方

以上でセンサーのペアリングは完了です。

※ 使用するセンサーはすべてペアリングしてください。他のセンサーをペアリングする場合は、同じ手順を繰り返します。

## ブラケットの取付け

## セットアップ

### センサーダイレクトモードの切替

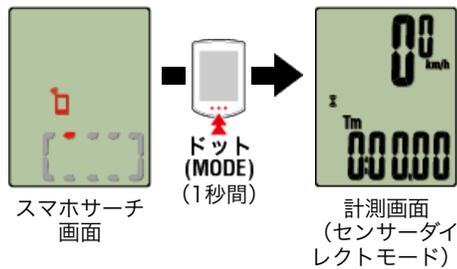
スマートフォンで

1. Cateye Cycling™を終了する、または  (メニュー) から [接続] をオフにします



ストラダスマートで

2. ストラダスマートをセンサーダイレクトモードにします



※ ストラダスマートはスマートフォンではなくセンサーをサーチして接続します。このモードでは接続中のセンサーアイコンが点滅します。

#### 重要

センサーダイレクトモードとミラーモードは個別の計測でデータの連続性はありません。

## ペアリング (センサーID照合)

### タイヤ設定

## セットアップ

### センサーダイレクトモードの切替

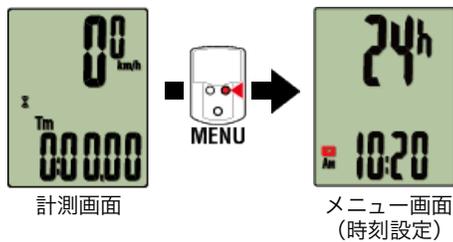
### ペアリング (センサーID照合)

ストラダスマートで受信するセンサーをペアリングします。

#### 重要

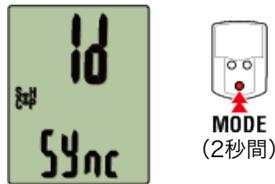
- ・ センサーの使用には、必ずペアリング (センサーID照合) が必要です。
- ・ ペアリングは、レース会場など複数の使用者がいる場所では行わないでください。他のセンサーとペアリングする恐れがあります。
- ・ 使用するセンサーはすべてペアリングしてください。

#### 1. 計測画面からMENUを押してメニュー画面に切替えます



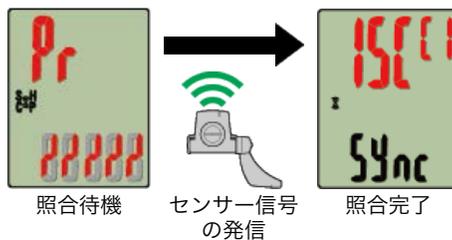
※ メニュー画面は1分間放置すると計測画面に戻ります。

#### 2. MODEを押して図の画面を表示させ、MODEを2秒間押します



#### 3. ペアリングするセンサー信号を発信させます。

##### 👉 センサー信号の発信方法



照合したセンサーを画面上段に表示し、ペアリングが完了します。

#### 重要

画面に **[FULL]** を表示してメニューに戻る場合：ストラダスマートでペアリングできるセンサーは最大9IDです。この場合は照合待機状態で**MENU**を4秒間押し続け、すべてのペアリングを消去します。その後、改めて必要なセンサーをペアリングしてください。

※ ペアリングの待受時間は5分間です。この間にセンサー信号を発信させてください。

---

#### 4. MENUを押してペアリングを確定します

引続き、他のセンサーとペアリングする場合は、同じ操作を繰り返してください。  
もう一度、**MENU**を押すと計測画面に戻ります。

※ 設定を変更した場合は、必ず**MENU**を押して変更内容を確定してください。

タイヤ設定

## セットアップ

### センサーダイレクトモードの切替

### ペアリング (センサーID照合)

## タイヤ設定

スピード計測可能なセンサーにタイヤ周長を設定します。

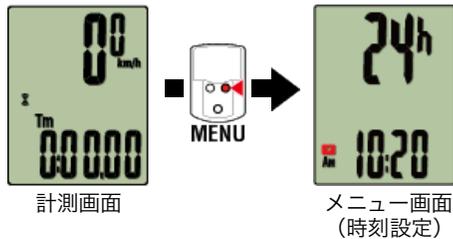
### 重要

- ・ 事前にセンサーのペアリング (センサーID照合) が必要です。

#### ペアリング (センサーID照合)

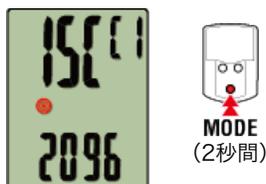
- ・ タイヤ周長はセンサー毎に設定してください。初期値は2096 mm (700x23c)が割当てられています。

### 1. 計測画面からMENUを押してメニュー画面に切替えます



※ メニュー画面は1分間放置すると計測画面に戻ります。

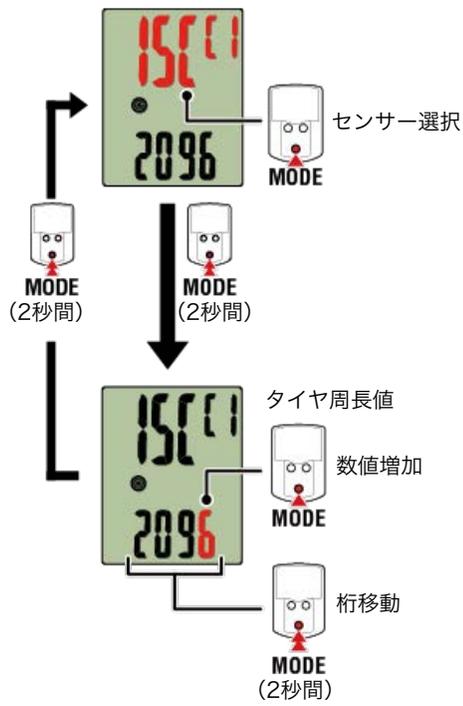
### 2. MODEを押して (タイヤアイコン) を表示させ、MODEを2秒間押しします



### 3. 周長を設定するセンサーを選び、タイヤ周長を入力します

センサー装着側のタイヤ周長 (タイヤの外周長さ) をmm単位で入力します。  
(設定範囲: 0100~3999 mm)

#### タイヤ周長の求め方



※ ペアリング済みのセンサーのみ選択できます。

※ 設定範囲外の数値を入力するとErrorが表示されます。

---

#### 4. MENUを押して設定を確定します

もう一度、MENUを押すと計測画面に戻ります。

※ 設定を変更した場合は、必ずMENUを押して変更内容を確定してください。

スマートフォンをお持ちの方

梱包内容

セットアップ

ブラケットの取付け

ブラケットはステム・ハンドルバーどちらでも取付けることができます。

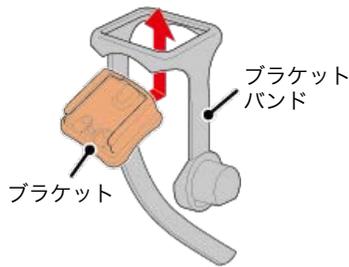
動画で見る

静止画で見る

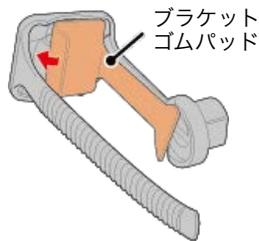
- ・ ステムに取付ける場合
- ・ ハンドルバーに取付ける場合
- ・ ストラダスマートの着脱

#### ●ステムに取付ける場合

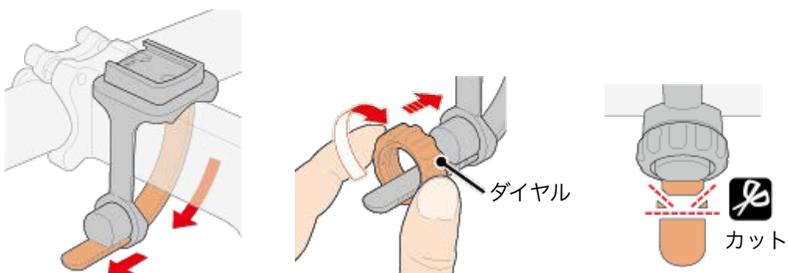
1. ブラケットの向きを確認してブラケットバンドに取付けます



2. ブラケットゴムパッドのシールを剥がし、ブラケットバンドに貼付けます



3. ブラケットバンドをステムに巻付け、ダイヤルを締付けて固定します

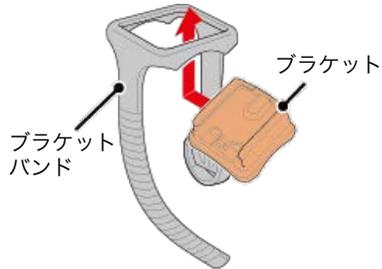


## 注意

- ・ダイヤルは必ず手で締付けてください。  
工具などで強く締めるとネジ山がつぶれる恐れがあります。
- ・ブラケットバンドは切口でケガをしないように処理してください。

### ●ハンドルバーに取付ける場合

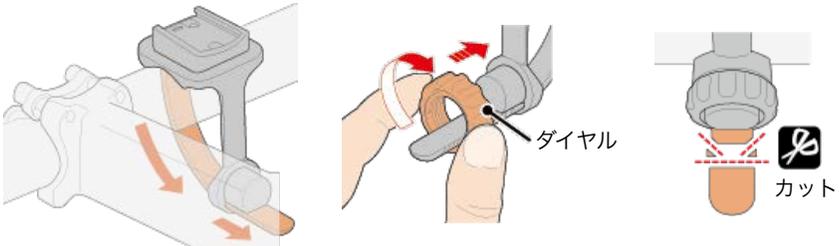
#### 1. ブラケットの向きを確認してブラケットバンドに取付けます



#### 2. ブラケットゴムパッドのシールを剥がし、ブラケットバンドに貼付けます



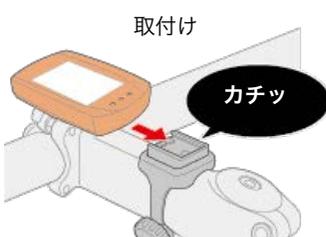
#### 3. ブラケットバンドをハンドルバーに巻付け、ダイヤルを締付けて固定します



## 注意

- ・ダイヤルは必ず手で締付けてください。  
工具などで強く締めるとネジ山がつぶれる恐れがあります。
- ・ブラケットバンドは切口でケガをしないように処理してください。

### ●ストラダスマートの着脱



## 注意

取外すときは、ストラダスマートが落下しないよう、手を添えながら押出してください。

## スマートフォンをお持ちの方

### セットアップ

スマートフォン用アプリ「Cateye Cycling™」（無料）はスマートフォンのGPSを使ってトリップデータを記録します。

さらにBluetoothセンサーと組み合わせると走行速度と共に心拍数やケイデンスなど信頼性の高い計測が可能になります。

#### 1. Cateye Cycling™をインストールします



iPhoneをご使用の方

App Storeにアクセスし、[Cateye Cycling] を検索して、インストールします。



Androidスマートフォンをご使用の方

Google playにアクセスし、[Cateye Cycling] を検索して、インストールします。

※ Cateye Cycling™の対応機種については、[製品ページ](#)よりご覧ください。



#### 2. Cateye Cycling™を起動します

画面に従ってGPS、Bluetooth®機器の使用を許可してください。

##### 重要

スマートフォンのBluetooth設定をオンにするとデバイスの検出が始まりますが、ここでは設定しません。Cateye Cycling™に切替えてから次の手順に従ってください。

基本事項の設定が完了するとトリップ画面を表示します。

※ センサーを使用しない場合は、これでセットアップは完了です。  
センサーを使用する場合は、以下の手順に従ってください。

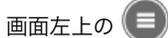
#### センサーとのペアリング

Cateye Cycling™は、Bluetooth 4.0規格に対応したセンサーを使用します。利用目的に応じてオプションまたは他社製センサーとペアリングしてください。

##### 重要

- ・ センサーの使用には、必ずペアリング（ID照合）が必要です。
- ・ ペアリングは、レース会場など複数の使用者がいる場所では行わないでください。他の機器とペアリングする恐れがあります。
- ・ 使用するセンサーはすべてペアリングしてください。他のセンサーをペアリングする場合は、同じ手順を繰り返します。

#### 1. ペアリングを行います



画面左上の （メニュー）から [接続] をオンにして、[接続機器] をタップします。



【ペアリング】をタップするとペアリングを開始します。

---

## 2. センサー信号を発信させます

### センサー信号の発信方法

Cateye Cycling™がセンサー信号を受信するとスマートフォンにメッセージを表示します。

【ペアリング】をタップすると【接続機器】に照合したセンサー名を表示し、ペアリングが完了します。

※ スピード計測可能なセンサーをペアリングした場合は手順3に進みます。

---

## 3. タイヤ周長を設定します

【接続機器】から追加されたセンサーをタップして、タイヤ周長（タイヤの外周長）を選択します。

※ 初期値：2096 mm（700x23c）

※ タイヤ周長はセンサー毎に設定が必要です。

※ センサー名の変更やペアリング解除もここで行えます。

### タイヤ周長の求め方

以上でセンサーのペアリングは完了です。

※ 使用するセンサーはすべてペアリングしてください。他のセンサーをペアリングする場合は、同じ手順を繰り返します。

スマートフォンをお持ちの方

## スピードセンサーの取付け (ISC-12)

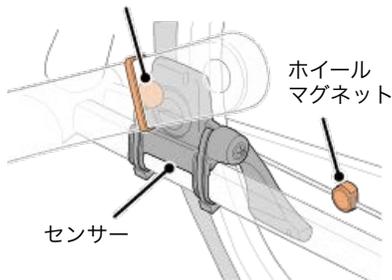
センサーはチェーンステアの上側・下側どちらでも取付け可能です。

動画で見る

静止画で見る

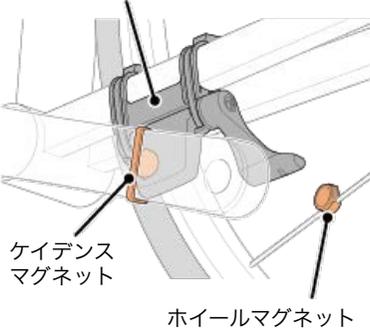
### チェーンステア上側に取付けた場合

ケイデンスマグネット



### チェーンステア下側に取付けた場合

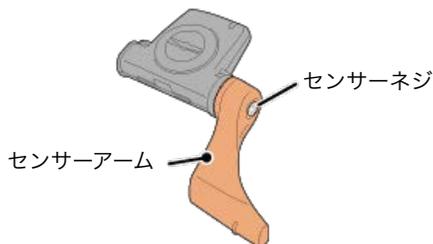
センサー



※ 取付手順は、チェーンステア上側の取付けを例に説明しています。

## 1. センサーを左チェーンステアに仮止めします

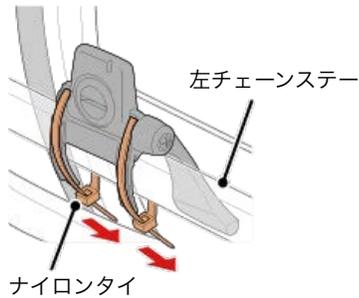
- ① プラスドライバーでセンサーのセンサーネジを緩め、センサーアームが動くことを確認します。



- ② センサーにセンサーゴムパッドを取付けます。



③ 図を参考に左チェーンステーにナイロントイで仮止めします。

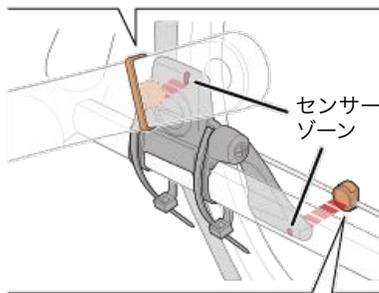
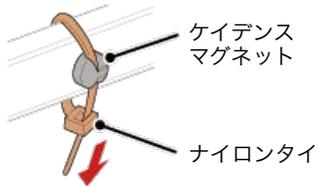


### 注意

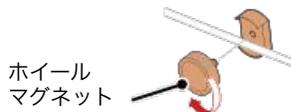
ナイロントイは完全に締付けしないでください。  
一旦締付けると引抜くことはできません。

## 2.マグネットを仮止めします

クランク内側



スポーク



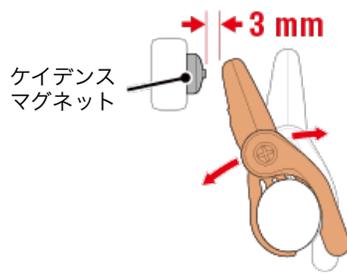
① センサーゾーン（ケイデンス側）に対面するようにクランク内側にケイデンスマグネットをナイロントイで仮止めします。

② センサーアームを回転させ、センサーゾーン（スピード側）に対面する位置のスポークにホイールマグネットを仮止めします。

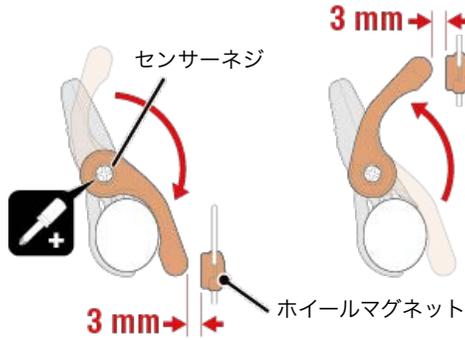
※ センサーが両方のマグネット（スピード/ケイデンス）との位置関係を確保できない場合は、センサーとマグネットの位置を移動して各センサーゾーンにマグネットが対面するように調整します。

## 3.センサーゾーンとマグネットの隙間を調整します

① ケイデンスマグネットとセンサーゾーン（ケイデンス側）の隙間が約3 mmになるようにセンサーを傾け、ナイロントイでしっかりと固定します。



- ② ホイールマグネットとセンサーゾーン（スピード側）の隙間が約3 mmになるようにセンサーアームを回転して調整し、センサーネジをしっかりと締付けて固定します。



#### 4. 各部を固定します

センサーのナイロンタイ、センサーネジ、マグネットをしっかりと締付け、緩みがないことを確認します。

はみ出したナイロンタイはカットします。

※ スチールシャフトのペダルを使用している場合、ケイデンスマグネットはペダルシャフトに磁力で固定できます。この場合はマグネットの粘着テープを除去してください。

## スマートフォンをお持ちの方

### 心拍センサーの装着 (HR-12)

心拍計測は胸部に心拍センサーを装着して行います。

#### 心拍センサーを装着する前に

##### 警告

ペースメーカーをご利用の方は、絶対にこの製品をお使いにならないでください。

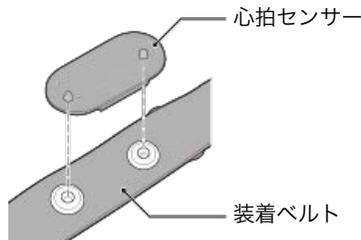
- ・ 計測ミスをなくすため、電極パッドに水または心電計用の電解質クリームを塗ることをおすすめします。
- ・ 皮膚の弱い方は、薄いシャツの上から電極パッドを水で濡らして装着してください。
- ・ 胸毛が計測を妨害することもあります。

#### 動画で見る

#### 静止画で見る

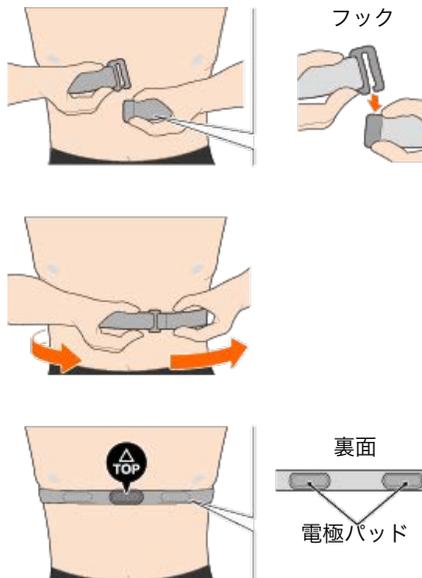
#### 1. 装着ベルトに心拍センサーを取付けます

「パチン」と音がするまで押込んでください。



#### 2. 装着ベルトのフックをもう一方のベルト先端に引っ掛けて装着します

装着ベルトを体に巻付け、胸回り（アンダーバスト）に合わせて装着ベルトの長さを調整します。きつく締めすぎると計測中、苦痛を感じることがあります。



※ 心拍センサーは**TOP**が上を向くように装着してください。

※ 必ず、電極パッドが身体に密着するようにしてください。

※ 皮膚が乾燥している場合、またはシャツの上から装着した場合、計測ミスが起こることがあります。このような場合は、電極パッドを水で濡らしてご利用ください。

## セットアップ方法

### スマートフォンをお持ちでない方

#### ▶ ストラータスマートのセットアップ

梱包内容の確認

セットアップ (初回のみ)

ブラケットの取付け

#### ▶ オプション部品

スピードセンサーの取付け (ISC-12)

心拍センサーの装着 (HR-12)

※ 他社製センサーは、その取扱説明書に従って取付けてください。

スマートフォンをお持ちでない方

## 梱包内容の確認



ストラダスマート



ブラケットバンド



ブラケット



ブラケットゴムパッド



ダイヤル

※ スピード+ケイデンスキットには、上記梱包品のほかスピードセンサー（ISC-12）が付属します。

※ トリプルワイヤレスキットには、上記梱包品のほかスピードセンサー（ISC-12）と心拍センサー（HR-12）が付属します。

## セットアップ

### ブラケットの取付け

## スマートフォンをお持ちでない方

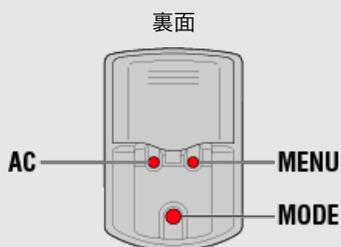
### 梱包内容

### セットアップ

はじめて使用する場合は、次の手順でストラダスマートをセットアップします。

#### ボタン操作

セットアップを始める前にボタン位置をご確認ください。

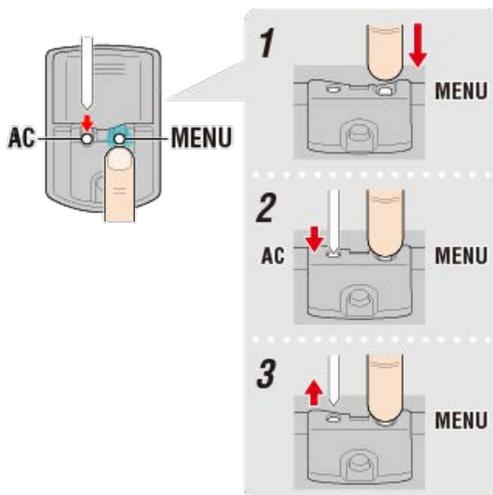


### 1. ストラダスマートをフォーマット（初期化）します

#### 注意

すべてのデータが消去され、工場出荷状態に戻ります。

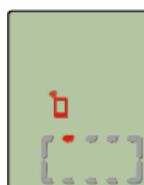
ストラダスマートの**MENU**を押しながら**AC**を押します。



画面が全点灯した後、スマホサーチ画面に切替ります。



全点灯



スマホサーチ画面

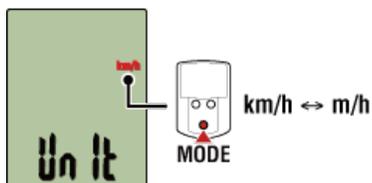
MENUを押して、次の手順に進みます。



MENU

※ 画面が全点灯せずに計測画面に切替る場合はフォーマットできていません。再度お試しください。

## 2. 任意の計測単位を表示します



MENUを押して、次の手順に進みます。



MENU

## 3. センサーをペアリングします

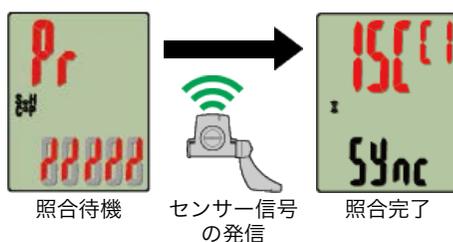
ストラダスマートは、Bluetooth 4.0規格に対応したセンサーを使用します。利用目的に応じてオプションまたは他社製センサーとペアリングしてください。

### 重要

- ・センサーの使用には、必ずペアリング（ID照合）が必要です。
- ・ペアリングは、レース会場など複数の使用者がいる場所では避けてください。他の機器とペアリングされる恐れがあります。
- ・使用するセンサーはすべてペアリングしてください。

ペアリングするセンサー信号を発信させます。

### センサー信号の発信方法



照合したセンサーを画面上段に表示し、ペアリングが完了します。

※ 他のセンサーをペアリングする場合は、**MODE**を2秒間押して照合待機表示に戻し、同じ手順を繰り返します。

※ ペアリングに失敗して次の手順に進めない場合は、**MENU**を押してペアリングをスキップしてください。セットアップ完了後にメニュー画面から再度ペアリングできます。

MENUを押して、次の手順に進みます。



MENU

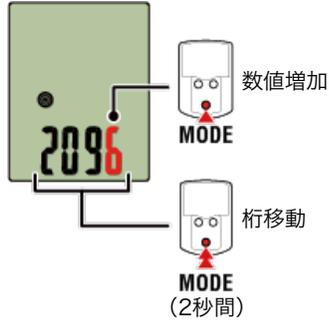
## 4. タイヤ周長を設定します

## 重 要

スピード計測可能なセンサーをペアリングしなかった場合、タイヤ周長入力はスキップします。

センサー装着側のタイヤ周長（タイヤの外周長さ）をmm単位で入力します。  
（設定範囲：0100～3999 mm）

### タイヤ周長の求め方



※ 設定範囲外の数値を入力するとErrorが表示されます。

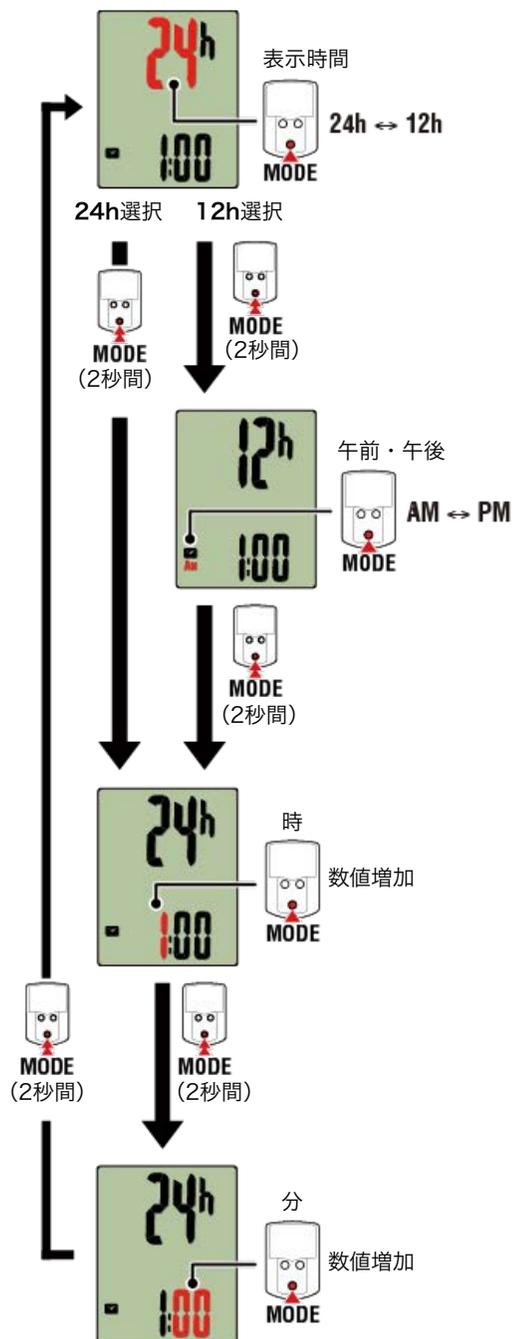
※ スピード計測可能なセンサーを複数ペアリングした場合はセットアップ完了後にメニュー画面から残りのセンサーにタイヤ周長を設定します。

**MENU**を押して、次の手順に進みます。



---

## 5. 表示時間と時刻を設定します



MENUを押すと、計測画面に切替ります。



以上で、セットアップは完了です。

## ブラケットの取付け

スマートフォンをお持ちでない方

梱包内容

セットアップ

ブラケットの取付け

ブラケットはステム・ハンドルバーどちらでも取付けることができます。

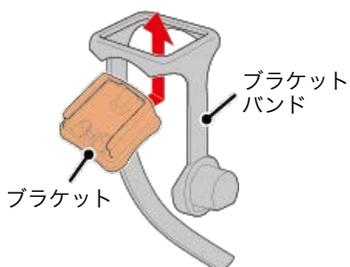
動画で見る

静止画で見る

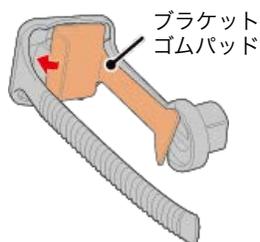
- ・ ステムに取付ける場合
- ・ ハンドルバーに取付ける場合
- ・ ストラダスマートの着脱

●ステムに取付ける場合

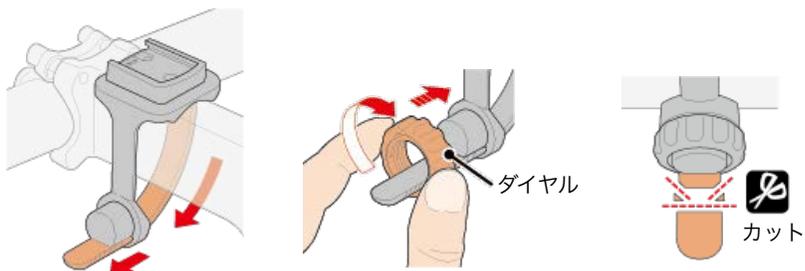
1. ブラケットの向きを確認してブラケットバンドに取付けます



2. ブラケットゴムパッドのシールを剥がし、ブラケットバンドに貼付けます



3. ブラケットバンドをステムに巻付け、ダイヤルを締付けて固定します

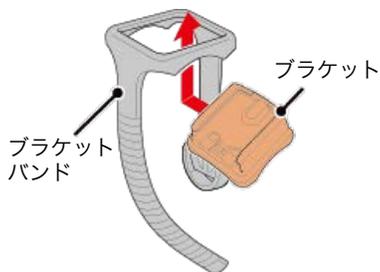


## 注意

- ・ダイヤルは必ず手で締付けてください。  
工具などで強く締めるとネジ山がつぶれる恐れがあります。
- ・ブラケットバンドは切口でケガをしないように処理してください。

### ●ハンドルバーに取付ける場合

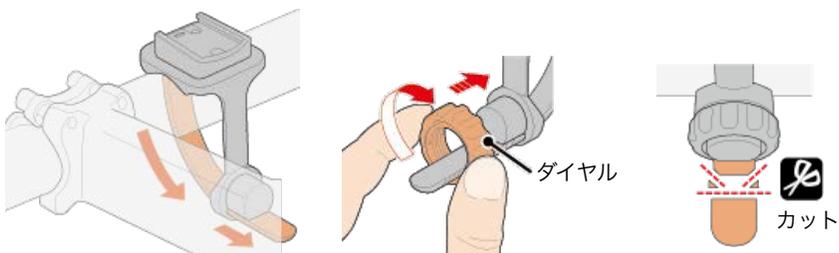
#### 1. ブラケットの向きを確認してブラケットバンドに取付けます



#### 2. ブラケットゴムパッドのシールを剥がし、ブラケットバンドに貼付けます



#### 3. ブラケットバンドをハンドルバーに巻付け、ダイヤルを締付けて固定します



## 注意

- ・ダイヤルは必ず手で締付けてください。  
工具などで強く締めるとネジ山がつぶれる恐れがあります。
- ・ブラケットバンドは切口でケガをしないように処理してください。

### ●ストラダスマートの着脱



## 注意

取外すときは、ストラダスマートが落下しないよう、手を添えながら押出してください。

スマートフォンをお持ちでない方

## スピードセンサーの取付け (ISC-12)

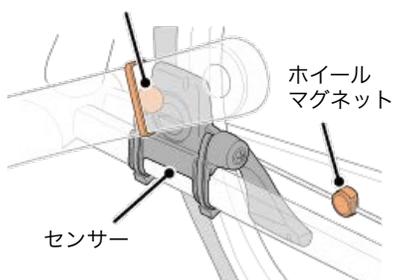
センサーはチェーンステアの上側・下側どちらでも取付け可能です。

動画で見る

静止画で見る

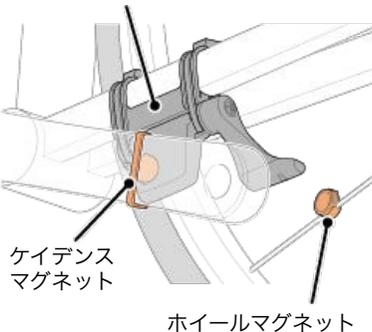
### チェーンステア上側に取付けた場合

ケイデンスマグネット



### チェーンステア下側に取付けた場合

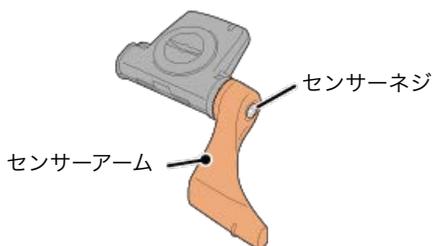
センサー



※ 取付手順は、チェーンステア上側の取付けを例に説明しています。

## 1. センサーを左チェーンステアに仮止めします

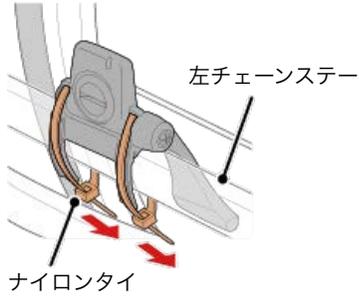
- ① プラスドライバーでセンサーのセンサーネジを緩め、センサーアームが動くことを確認します。



- ② センサーにセンサーゴムパッドを取付けます。



③ 図を参考に左チェーンステーにナイロントイで仮止めします。

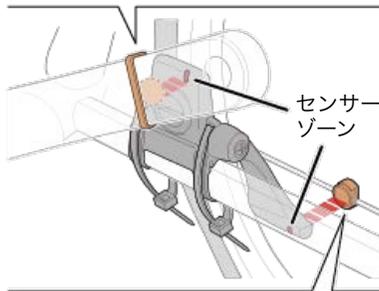
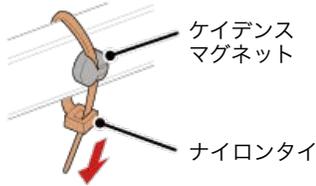


### 注意

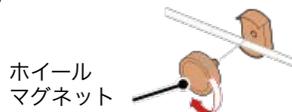
ナイロントイは完全に締付けないでください。  
一旦締付けると引抜くことはできません。

## 2.マグネットを仮止めします

クランク内側



スポーク



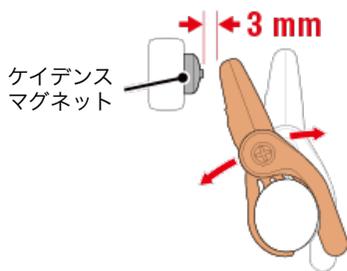
① センサーゾーン（ケイデンス側）に対面するようにクランク内側にケイデンスマグネットをナイロントイで仮止めします。

② センサーアームを回転させ、センサーゾーン（スピード側）に対面する位置のスポークにホイールマグネットを仮止めします。

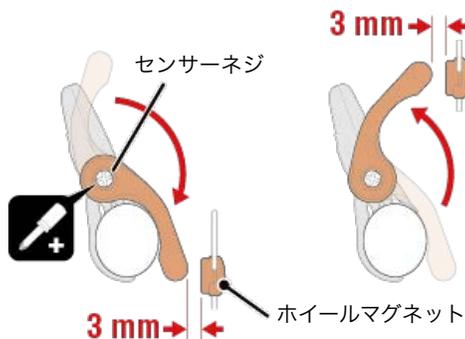
※ センサーが両方のマグネット（スピード/ケイデンス）との位置関係を確保できない場合は、センサーとマグネットの位置を移動して各センサーゾーンにマグネットが対面するように調整します。

## 3.センサーゾーンとマグネットの隙間を調整します

① ケイデンスマグネットとセンサーゾーン（ケイデンス側）の隙間が約3 mmになるようにセンサーを傾け、ナイロントイでしっかりと固定します。



- ② ホイールマグネットとセンサーゾーン（スピード側）の隙間が約3 mmになるようにセンサーアームを回転して調整し、センサーネジをしっかりと締付けて固定します。



#### 4. 各部を固定します

センサーのナイロンタイ、センサーネジ、マグネットをしっかりと締付け、緩みがないことを確認します。

はみ出したナイロンタイはカットします。

※ スチールシャフトのペダルを使用している場合、ケイデンスマグネットはペダルシャフトに磁力で固定できます。この場合はマグネットの粘着テープを除去してください。

## スマートフォンをお持ちでない方

### 心拍センサーの装着 (HR-12)

心拍計測は胸部に心拍センサーを装着して行います。

#### 心拍センサーを装着する前に

##### 警告

ペースメーカーをご利用の方は、絶対にこの製品をお使いにならないでください。

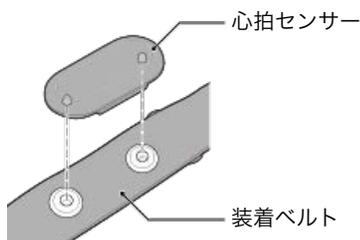
- ・ 計測ミスをなくすため、電極パッドに水または心電計用の電解質クリームを塗ることをおすすめします。
- ・ 皮膚の弱い方は、薄いシャツの上から電極パッドを水で濡らして装着してください。
- ・ 胸毛が計測を妨害することもあります。

#### 動画で見る

#### 静止画で見る

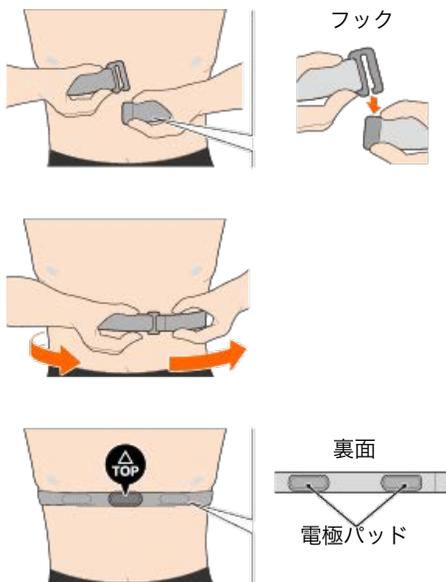
#### 1. 装着ベルトに心拍センサーを取付けます

「パチン」と音がするまで押込んでください。



#### 2. 装着ベルトのフックをもう一方のベルト先端に引っ掛けて装着します

装着ベルトを体に巻付け、胸回り（アンダーバスト）に合わせて装着ベルトの長さを調整します。きつく締めすぎると計測中、苦痛を感じることがあります。



※ 心拍センサーは**TOP**が上を向くように装着してください。

※ 必ず、電極パッドが身体に密着するようにしてください。

※ 皮膚が乾燥している場合、またはシャツの上から装着した場合、計測ミスが起こることがあります。このような場合は、電極パッドを水で濡らしてご利用ください。

## スマートフォンとストラダスマートをお持ちの方

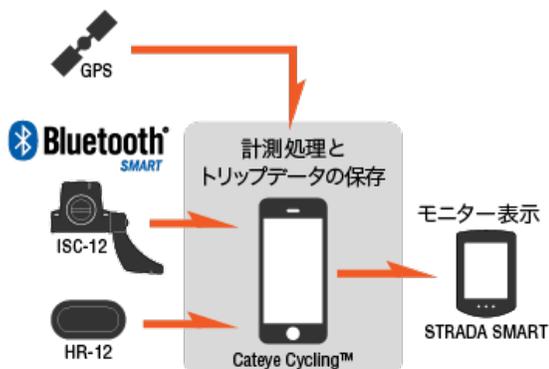
ストラダスマートは好みや状況に応じて  
ミラーモードとセンサーダイレクトモードの2通りに使い分けることができます。

ミラーモード

センサーダイレクトモード

### ミラーモードとは

ストラダスマートとスマートフォン用アプリ「Cateye Cycling™」が連携することで、ストラダスマートやオプションまたは市販の各種センサー（スピード、ケイデンス、心拍、パワー）がスマートフォンと繋がり、スマートフォンが持つGPS機能を加えたログ情報を記録しながら計測できます。このときストラダスマートはスマートフォンの計測値をリアルタイムで表示するモニターとなります。



The Bluetooth word mark and logos are owned by the Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by CATEYE Co., Ltd. is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.

ストラダスマートをハンドルに装着することで、スマートフォンはカバンやポケットに収納した状態でも計測値のほか、電話やメールの着信を確認できます。これにより大切なスマートフォンの消費電力を抑え、落下の危険性も回避できます。



計測結果（トリップデータ）は、その場でCATEYE Atlas™などのサービスサイトにアップロードできます。

※ スピード計測可能なセンサーがなくてもスマートフォンのGPS機能を利用したセンサーレスのサイクロコンピュータとして使用できます。

#### ●画面表示について

ストラダスマート画面

Cateye Cycling™画面

## 計測する

スマートフォンとストラダスマートの接続



計測



トリップの保存・アップロード

## 見る

Cateye Cycling™ではトリップやサマリーデータ（アクティビティと呼ぶ）を確認・管理できます。

アクティビティの累計確認

アクティビティの確認

アクティビティの一括アップロード

## 設定を変更する

Cateye Cycling™ではストラダスマートをはじめ、接続機器を含むすべての設定を行えます。

※ スマートフォン接続時、Cateye Cycling™とストラダスマートの設定が異なる場合は、どちらに同期するか選択します。

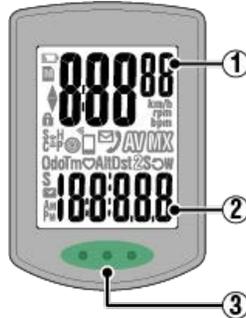
一般

接続機器

アカウント

## スマートフォンとストラダスマートをお持ちの方

### ストラダスマート画面



#### 表示内容

##### ① 上段表示データ

走行速度を表示します。

ミラーモードでは、電話着信があった場合は、右端の数字が回転します。

※ 心拍数やケイデンス表示に変更できます。

 接続機器：サイクロコンピュータ：画面カスタマイズ

##### ② 選択データ

MODEを押すごとに計測値を切替えます。

※ 数値が点滅する場合は、センサーの電池交換時期です。

###### ・ 速度・ケイデンス・心拍数が点滅する：

CATEYE製センサーを使用している場合、センサーの電池交換時期に関連する数値が点滅します。

 電池の交換：オプションセンサー

###### ・ パワーが点滅する：

左右独立型パワーセンサーを使用している場合、片方の信号が途絶えると点滅します。

##### ③ ドット部 (MODEボタン)

ブラケット装着時はドット部を押すと裏面のMODEが押されます。



#### 着信インジケータ

着信時は画面のアイコン表示と共にドット部が定期的に点滅し夜間でも確認できます。

#### アイコン説明

##### (バッテリーアラーム)

ストラダスマートの電池残量が低下すると点滅します。

点滅時は、早めに電池を交換してください。

## 電池の交換：ストラダスマート

### (メモリアラーム)

ストラダスマートのメモリ残量がなくなると点灯します。

点灯後は新しいデータを記録するために最も古いサマリーデータを消去します。

※ メモリはセンサーダイレクトモードでのサマリーデータの保存に使用します。

※ メモリはサマリーデータを「Cateye Cycling™」にインポートすることで空にできます。

### サマリーデータのインポート

### (ベースアロー)

走行速度が平均速度より速い (▲) か遅い (▼) かを表します。

### (センサー信号アイコン)

各種Bluetooth®センサーの受信状態を表します。

#### ・ アイコンの種類：

##### S (スピード信号)

スピードセンサーの信号を表します。

##### C (ケイデンス信号)

ケイデンスセンサーの信号を表します。

##### S/C (SとCが同時表示)

スピード/ケイデンス (ISC) センサーの信号を表します。

##### H (心拍信号)

心拍センサーの信号を表します。

##### P (パワー信号)

パワーセンサーの信号を表します。

#### ・ アイコンの状態：

##### 点灯

ミラーモードで信号受信中

##### 点滅

センサーダイレクトモードで信号受信中

##### 消灯

信号なし

### (タイヤサイズ)

ストラダスマート側でタイヤ周長を設定中に表示します。

### (シンクロ)

スマートフォン接続時に点灯します。

スマートフォンの電池残量が低下すると点滅します。

### (メール着信) / (電話着信)

ミラーモードでは、メールや電話着信をアイコンで通知します。

計測の一時停止やリセット・終了操作で通知はリセットされます。

※ メール着信にはメールアカウントの設定が必要です。

### 一般：通知設定

### 計測：一時停止、リセット操作

### km/h・m/h・rpm・bpm (計測単位)

選択中の計測単位を表示します。

- ・ 点灯

計測停止中

- ・ 点滅  
計測中

## **AV** (平均値)

表示中の値が平均値であることを表します。

## **MX** (最高・最大値)

表示中の値が最高（最大）値であることを表します。

## 選択データ

現在表示中の選択データを表します。

- ・ **Odo** (積算距離)
- ・ **Tm** (走行時間)
- ・  (心拍数)
- ・ **Alt** (標高)  
※ ミラーモード時のみ
- ・ **Dst** (走行距離)
- ・ **Dst2** (走行距離2)
- ・ **S** (走行速度)
- ・  (ケイデンス)
- ・ **W** (パワー)
- ・  (時刻)

## スマートフォンとストラダスマートをお持ちの方

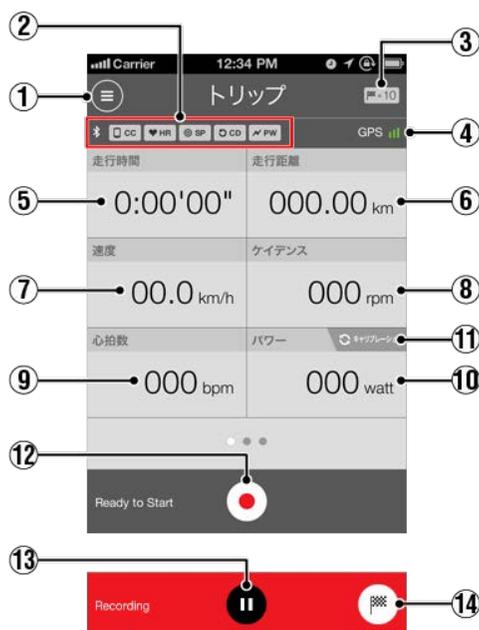
### Cateye Cycling™画面

Cateye Cycling™のホーム画面です。

計測の開始／一時停止／完了操作が行えます。

スワイプするとマップ表示・グラフ表示に切り替わり軌跡を確認できます。

※ 計測の開始／一時停止／終了はストラダスマート本体で遠隔操作できます。



- ①  **メニューボタン**  
メニューを表示します。

- ② **機器接続状態アイコン**  
機器との接続状態を表します。

-  **CC** (ストラダスマート)
-  **HR** (心拍センサー)
-  **SP** (スピードセンサー)
-  **CD** (ケイデンスセンサー)
-  **PW** (パワーセンサー)

※ 薄い表示は未接続を表します。

※ スピード／ケイデンス (ISC) センサーは、 **SP** と  **CD** の両方を表示します。

- ③  **x10** /  **Full**

**トリップの一時保存数**

リセット操作で一時保存したトリップデータの数を表します。

一時保存できるトリップデータは最大30ファイルです。これを超えると表示が



Full になり、以降の一時保存はできません。こまめにトリップデータを保存・アップロードすることをお勧めします。

④  GPSアイコン

GPSの受信状態を表します。

⑤ TIME (走行時間)

⑥ DISTANCE (走行距離)

⑦ SPEED (走行速度)

⑧ CADENCE (ケイデンス) ※1

⑨ HEART RATE (心拍数) ※1

⑩ POWER (パワー) ※1

※1：センサー信号を受信できないときは「-」を表示します。

⑪  キャリブレーションボタン

パワーセンサーのキャリブレーションを行います。



パワーセンサーのキャリブレーション

⑫  計測開始ボタン

計測を開始します。

※ スピード信号またはGPSを受信できない場合は、選択できません。

⑬  一時停止ボタン

計測を一時停止します。

⑭  フラッグボタン

計測を完了します。

トリップのアップロード画面に切替ります。



トリップの保存・アップロード

スマートフォンとストラダスマートをお持ちの方

## スマートフォンとストラダスマートの接続

スマートフォンで

1. Cateye Cycling™を起動し、☰（メニュー）の【接続】をオンにします

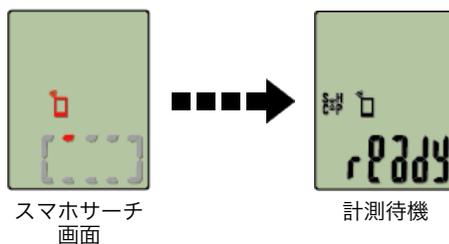


ストラダスマートで

2. MODEを押してスマホサーチ画面を表示し、スマートフォンと接続します

※ 計測画面を表示している場合はMODEを1秒間押すとスマホサーチ画面に変わります。

スマートフォンと接続すると計測待機表示に切替ります。



※ すでにCateye Cycling™で計測中に接続した場合は、計測中の値が表示されます。

※ ストラダスマートの画面はCateye Cycling™の状態により異なります。

以上でスマートフォンとの接続が完了します。

計測

トリップの保存・アップロード

## スマートフォンとストラダスマートをお持ちの方

### ストラダスマートとスマートフォンの接続

#### 計測

##### 重要

###### ・スマートフォンの取扱い

計測時、スマートフォンはCateye Cycling™を起動したままディスプレイをオフにして、カバンやポケットなどの安全な場所に収納します。

計測のスタート/一時停止/再開やリセット操作（トリップの終了）は、ストラダスマートから遠隔操作できるので、トリップの保存・アップロードを行うまで取出す必要はありません。

※ Cateye Cycling™はバックグラウンドでも計測可能です。

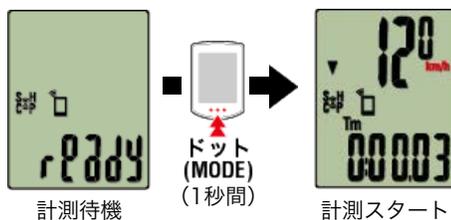
###### ・計測の上限について

ミラーモードは1回のトリップで計測できる走行時間は約27時間、走行距離は1000 kmまでです。いずれかを超えると、計測を終了してトリップデータを一時保存します。この場合、画面は次のトリップ計測を開始できる [ready]（計測待機）表示に戻ります。

#### ▶ 計測の開始

##### ストラダスマートで

ストラダスマートが [ready]（計測待機）表示のときに**MODE**を1秒間押すと、計測を開始します。

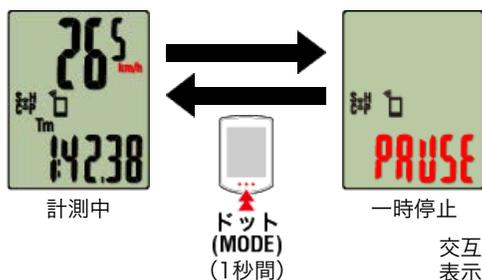


※ 計測中、スマートフォンとの接続が切断した場合、ストラダスマートはスマホサーチ画面に切替ります。接続が復帰すると計測画面に戻ります。

#### ▶ 計測の一時停止/再開

##### ストラダスマートで

計測中に**MODE**を1秒間押すと [PAUSE] を表示して一時停止状態になります。再度、1秒間押すと計測を再開します。





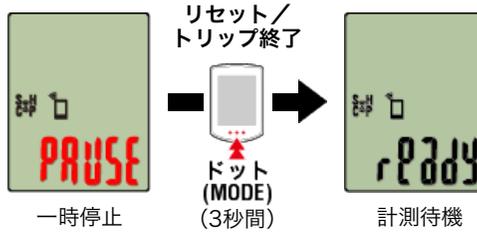
走行距離

## ● 計測を終了する (リセット操作)

ストラダスマートで

MODEを3秒間押すと計測を終了してスマートフォンにトリップデータを一時保存し、計測値をリセットします。

画面は [ready] 表示に切り替わり、次の計測を開始できる状態になります。



## 📁 トリップの保存・アップロード

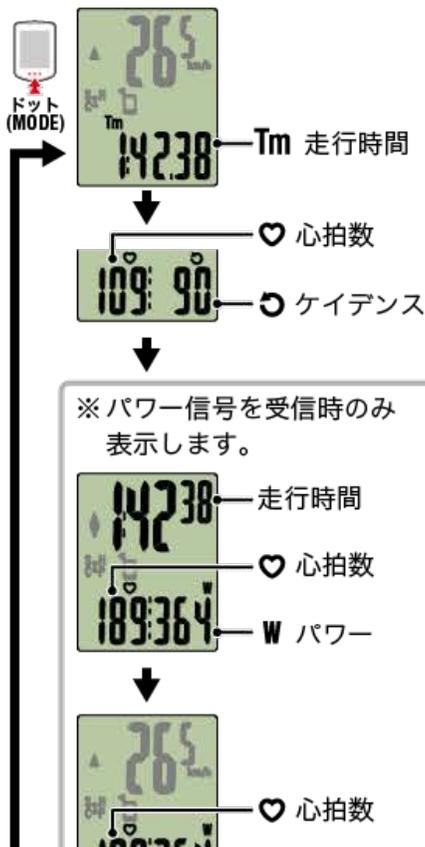
## ● 計測時の機能

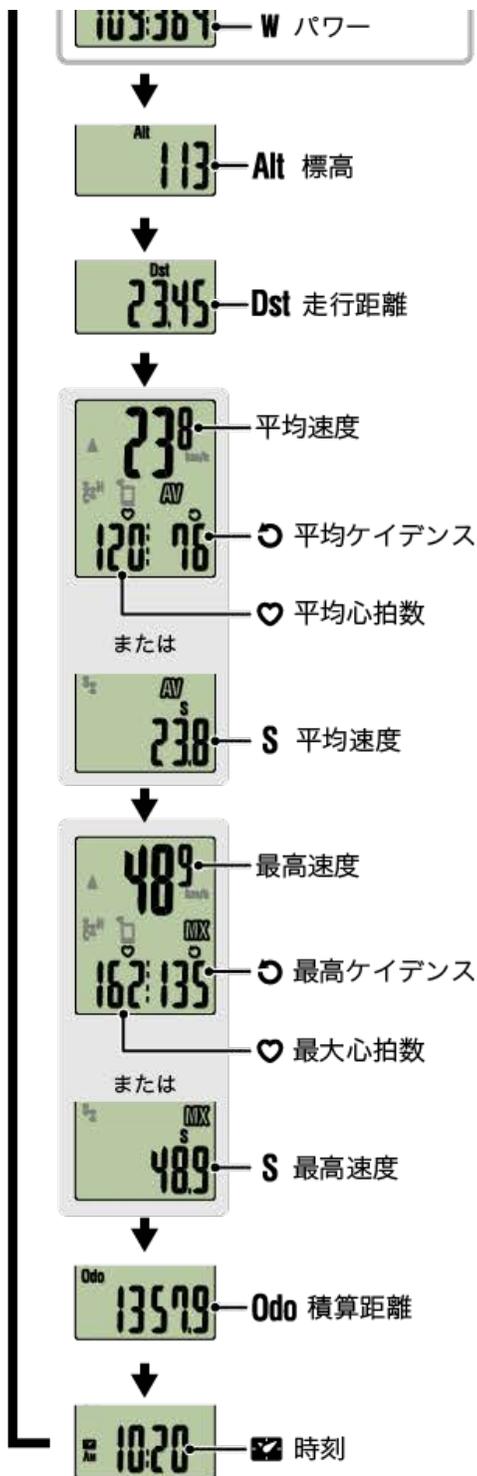
計測データの切替

ストラダスマートで

Cateye Cycling™で計測中の各データをMODEで切替えて表示できます。

※ 表示するデータは、センサーの接続状態により異なります。





※ 心拍数・ケイデンス関連データは、各センサーをペアリングしないと表示しません。

### オートポーズ機能

ストラダスマートで

スマートフォンとストラダスマートの接続が切断したときに、計測を一時停止する機能です。

接続が復帰すると自動的に再開します。

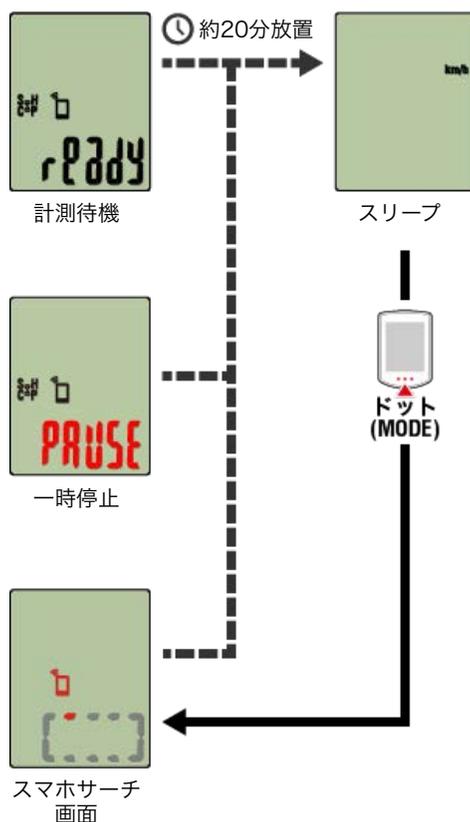
 一般：オートポーズ

### 節電機能

ストラダスマートで

[ready] (計測待機)、[PAUSE] (一時停止)、スマホサーチ画面のいずれかで約20分間放置するとスリープ表示になります。

**MODE**を押してスマホサーチ画面に切替え、接続が復帰すると元の画面に戻ります。



#### パワーセンサーをお持ちの場合

ペアリングしたパワーセンサーから信号を受信すると、選択データにパワー値を表示します。

#### ストラダスマートで



#### スマートフォンで



※ 999を超えるパワー値は、下3桁を表示します。

※ 精度を高めるため、パワー計測前のキャリブレーションをお勧めします。

 **パワーセンサーのキャリブレーション**

トリップの保存・アップロード

スマートフォンとストラダスマートをお持ちの方

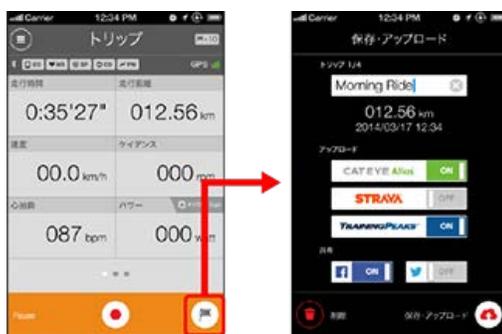
ストラダスマートとスマートフォンの接続

計測

トリップの保存・アップロード

スマートフォンで

1. トリップ画面で  (フラッグ) をタップして計測を完了します  
アップロード画面に切替ります。



2. アップロード先を [ON] 表示にします

- ※ トリップ名は変更可能です。
- ※ 事前に各サービスサイトのアカウント設定が必要です。

#### アカウント

- ※ Cateye Cycling™ではCATEYE Atlas™にアップロードしたトリップのリンクのみ Facebook™、Twitter™に投稿できます。その他のサービスサイトのリンクは投稿できません。

3.  (保存・アップロード) をタップするとトリップがCateye Cycling™に保存されると共に選択したサービスサイトにアップロードされます

- ※ 複数のトリップがある場合は、この操作を繰り返します。

- ※  (削除) でトリップを削除できます。

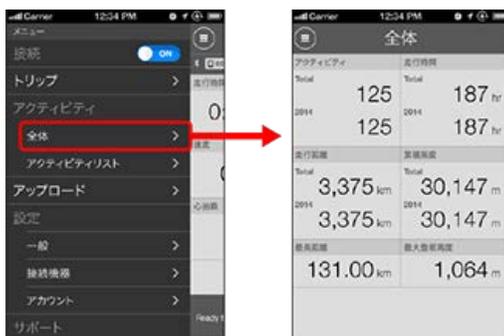
#### アクティビティの確認

スマートフォンとストラダスマートをお持ちの方

## アクティビティの累計確認

スマートフォンで

1. (メニュー) - [全体] をタップします



※ Cateye Cycling™に保存したすべてのアクティビティの累積値と1トリップでの最大値が確認できます。

## アクティビティの確認

### アクティビティの一括アップロード

## スマートフォンとストラダスマートをお持ちの方

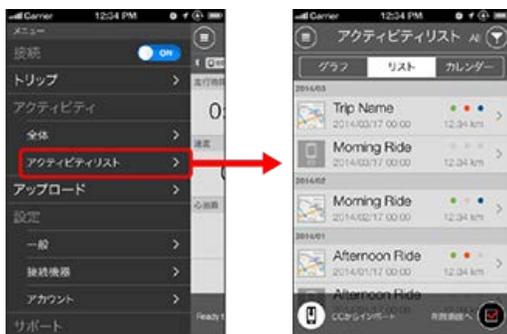
### アクティビティの累計確認

### アクティビティの確認

アクティビティ（トリップデータとサマリーデータの総称）はアクティビティリストで確認できます。

スマートフォンで

#### 1. ☰（メニュー） - [アクティビティリスト] をタップします



※ [アクティビティリスト] はグラフ/リスト/カレンダーで表示できます。

※ （選択して削除）をタップするとアクティビティ削除画面へ移行します。

削除するアクティビティにチェックを付け、（削除）をタップしてください。

#### 2. 各アクティビティはタップすると詳細の確認とアップロード・削除が行えます



・ （アップロード）：  
サービスサイトへのアップロード

・ （削除）：  
アクティビティ削除

### アクティビティの一括アップロード

スマートフォンとストラダスマートをお持ちの方

アクティビティの累計確認

アクティビティの確認

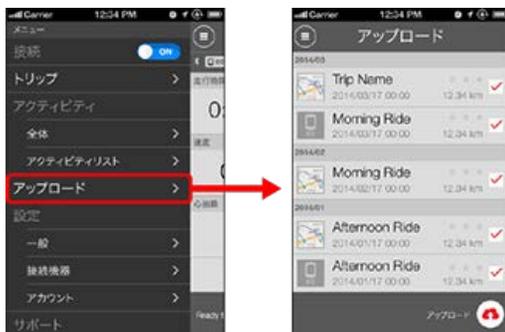
アクティビティの一括アップロード

アクティビティは一括してサービスサイトにアップロードできます。

スマートフォンで

1.  (メニュー) - [アップロード] をタップします。

※ 既にサービスサイトにアップしたアクティビティは表示されません。



2. 任意のアクティビティにチェックを付けて  (アップロード) をタップすると指定したサイトにアップロードされます

※ 事前にサービスサイトのアカウント設定が必要です。

※ 一括アップロードでのアップロード先は [アカウント] でオンにしたサイトになります。

 アカウント

## スマートフォンとストラダスマートをお持ちの方

### 一般

ミラーモードに関する各種設定を行います。

#### スマートフォンで

#### 1. (メニュー) - [一般] をタップします



- **記録間隔**  
ログを記録する間隔を選択できます。
- **通知設定**  
着信通知（電話・メール）とスマートフォンのバッテリー残量通知を設定できます。
- **単位**  
計測単位を選択します。

#### 重要

ストラダスマートと未接続の状態で単位を変更した場合は、次回接続時にどちらの単位を適用するかを選択します。

- **オートポーズ**  
計測中にスマートフォンを持って自転車から離れ、スマートフォンとストラダスマートの接続が切断したときに自動的に計測を一時停止する機能です。

#### 接続機器

#### アカウント

## スマートフォンとストラダスマートをお持ちの方

### 一般

### 接続機器

接続機器（ストラダスマートやセンサー）の設定を行います。

#### 重要

接続機器の設定内容はストラダスマートとスマートフォンを接続した時点で共有されません。

#### iPhoneと他社製センサーを使用する場合

他社製センサーの設定内容は共有されません。センサーダイレクトモードで計測する際はストラダスマートで再度設定する必要があります。

### スマートフォンで

#### 1. (メニュー) - [接続機器] をタップします



### サイクロコンピュータ（ストラダスマート）

#### 重要

ストラダスマートと接続中のみ設定可能です。



- 画面カスタマイズ

上段表示と下段表示の内容を指定できます。

- 積算距離

積算距離の初期値を入力できます。

※ 買替時や再設定する場合に活用してください。

- 時刻表示

時刻表示を12時間/24時間表示に切替えます。

## センサー

### 重要

ストラダスマートと未接続でも変更可能です。

双方の設定値が異なる場合は次回接続時にどちらを適用するか選択します。



### タイヤ周長

スピード計測可能なセンサーのタイヤ周長を入力します。

 **タイヤ周長の求め方**

## アカウント

スマートフォンとストラダスマートをお持ちの方

一般

接続機器

アカウント

アクティビティをアップロードするサービスサイト、SNSに関する各種設定を行います。

1. (メニュー) - [アカウント] をタップします



以下のサービスサイトのアカウント設定を行います。

※ 事前に各サイトのアカウントが必要です。

サービスサイト

- ・ CATEYE Atlas™
- ・ STRAVA™
- ・ TRAINING PEAKS™

SNS

- ・ Facebook™
- ・ Twitter™

※ SNSには、CATEYE Atlas™にアップロードしたアクティビティのリンクが投稿されます。

## スマートフォンとストラダスマートをお持ちの方

ストラダスマートは好みや状況に応じて  
ミラーモードとセンサーダイレクトモードの2通りに使い分けることができます。

ミラーモード

センサーダイレクトモード

### センサーダイレクトモードとは

スマートフォンを介さず、通常のサイクロコンピュータとして使用できます。  
この場合、各種センサー（スピード、ケイデンス、心拍、パワー）からの信号をストラダスマートが直接受信して計測します。



The Bluetooth word mark and logos are owned by the Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by CATEYE Co., Ltd. is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.

走行時間や走行距離などの走行結果（サマリーデータ）は、「Cateye Cycling™」でスマートフォンに転送し、CATEYE Atlas™などのサービスサイトにアップロードできます。

- ※ センサーダイレクトモードでは、走行ログの記録はできません。
- ※ iPhoneと他社製センサーを使用する場合  
センサーダイレクトモードで計測する際はストラダスマートで再度ペアリングやタイヤ周長の設定が必要です。

### ●画面表示について

ストラダスマート画面

計測する

センサーダイレクトモードの切替え

計測の開始/停止

見る

Cateye Cycling™ではトリップやサマリーデータ（アクティビティと呼ぶ）を確認・管理できます。

アクティビティの累計確認

アクティビティ確認

アクティビティの一括アップロード

センサーダイレクトモードで計測した  
サマリーデータのインポート

設定を変更する

Cateye Cycling™ではストラダスマートをはじめ、接続機器を含むすべての設定を行えます。

※ スマートフォン接続時、Cateye Cycling™とストラダスマートの設定が異なる場合は、どちらに同期するか選択します。

重 要

#### iPhoneと他社製センサーを使用する場合

ストラダスマートをセンサーダイレクトモードに切替えて、ペアリングとタイヤ周長を再設定します。

 ペアリング (センサーID照合)

 タイヤ設定

一般

接続機器

アカウント

スマートフォンとストラダスマートをお持ちの方

## ストラダスマート画面



### 表示内容

#### ① 上段表示データ

走行速度を表示します。

※ 心拍数やケイデンス表示に変更できます。

 接続機器：サイクロコンピュータ：画面カスタマイズ

#### ② 選択データ

MODEを押すごとに計測値を切替えます。

※ 数値が点滅する場合は、センサーの電池交換時期です。

##### ・ 速度・ケイデンス・心拍数が点滅する：

CATEYE製センサーを使用している場合、センサーの電池交換時期に関連する数値が点滅します。

 電池の交換：オプションセンサー

##### ・ パワーが点滅する：

左右独立型パワーセンサーを使用している場合、片方の信号が途絶えると点滅します。

#### ③ ドット部 (MODEボタン)

ブラケット装着時はドット部を押すと裏面のMODEが押されます。



### アイコン説明

#### (バッテリーアラーム)

ストラダスマートの電池残量が低下すると点滅します。  
点滅時は、早めに電池を交換してください。

 電池の交換：ストラダスマート

#### (メモリアラーム)

ストラダスマートのメモリ残量がなくなると点灯します。

点灯後は新しいデータを記録するために最も古いサマリーデータを消去します。

※ メモリはセンサーダイレクトモードでのサマリーデータの保存に使用します。

※ メモリはサマリーデータを「Cateye Cycling™」にインポートすることで空にできます。

## サマリーデータのインポート

### (ベースアロー)

走行速度が平均速度より速い (▲) か遅い (▼) かを表します。

### (センサー信号アイコン)

各種Bluetooth®センサーの受信状態を表します。

#### ・ アイコンの種類 :

##### **S** (スピード信号)

スピードセンサーの信号を表します。

##### **C** (ケイデンス信号)

ケイデンスセンサーの信号を表します。

##### **S/C** (SとCが同時表示)

スピード/ケイデンス (ISC) センサーの信号を表します。

##### **H** (心拍信号)

心拍センサーの信号を表します。

##### **P** (パワー信号)

パワーセンサーの信号を表します。

#### ・ アイコンの状態 :

##### 点滅

信号受信中

##### 消灯

信号なし

### (タイヤサイズ)

ストラダスマート側でタイヤ周長を設定中に表示します。

### **km/h**・**m/h**・**rpm**・**bpm** (計測単位)

選択中の計測単位を表示します。

#### ・ 点灯

計測停止中

#### ・ 点滅

計測中

### **AV** (平均値)

表示中の値が平均値であることを表します。

### **MX** (最高・最大値)

表示中の値が最高 (最大) 値であることを表します。

#### 選択データ

現在表示中の選択データを表します。

#### ・ **Odo** (積算距離)

#### ・ **Tm** (走行時間)

#### ・ (心拍数)

#### ・ **Dst** (走行距離)

#### ・ **Dst2** (走行距離2)

#### ・ **S** (走行速度)

#### ・ (ケイデンス)

・ **W** (パワー)

・  (時刻)

スマートフォンとストラダスマートをお持ちの方

## センサーダイレクトモードの切替

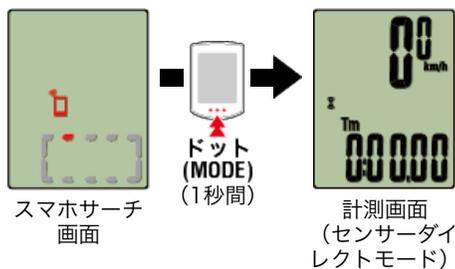
スマートフォンで

1. Cateye Cycling™を終了する、または  (メニュー) から [接続] をオフにします



ストラダスマートで

2. ストラダスマートをセンサーダイレクトモードにします



※ ストラダスマートはスマートフォンではなくセンサーをサーチして接続します。このモードでは接続中のセンサーアイコンが点滅します。

### 重要

センサーダイレクトモードとミラーモードは個別の計測でデータの連続性はありません。

計測の開始/停止

スマートフォンとストラダスマートをお持ちの方

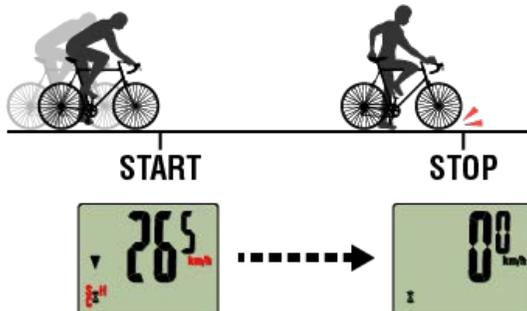
センサーダイレクトモードの切替

計測の開始/停止

### ▶ 計測の開始/停止

ストラダスマートで

自転車の動きに合わせて自動で計測を行います。  
計測中は、計測単位が点滅します。



※ センサーダイレクトモードでは一時停止機能はありません。

### ▶ 計測を終了する（リセット操作）

ストラダスマートで

計測画面で**MODE**を3秒間押しすと、計測結果をサマリーデータとして生成し、計測データを0に戻します。

※ **MODE**は1秒間押しした時点で一時的にスマホサーチ画面を表示しますがそのまま押し続けてください。

※ 生成したサマリーデータは、スマートフォンに取込めます。

 サマリーデータのインポート

リセット



#### 重要

ストラダスマートが保存できるサマリーデータは最大30ファイルです。これを超えると画面に **M** が点灯し、リセット時に最も古いサマリーデータを消去します。スマートフォンと接続してお使いの場合はこまめにインポートすることをお勧めします。

#### ● 走行距離2 (Dst2) のリセット

走行距離2 (Dst2) を表示させて**MODE**を3秒間押しすと、走行距離2のみ0に戻ります。

※ 走行距離2 (Dst2) の値はサマリーデータには記録されません。

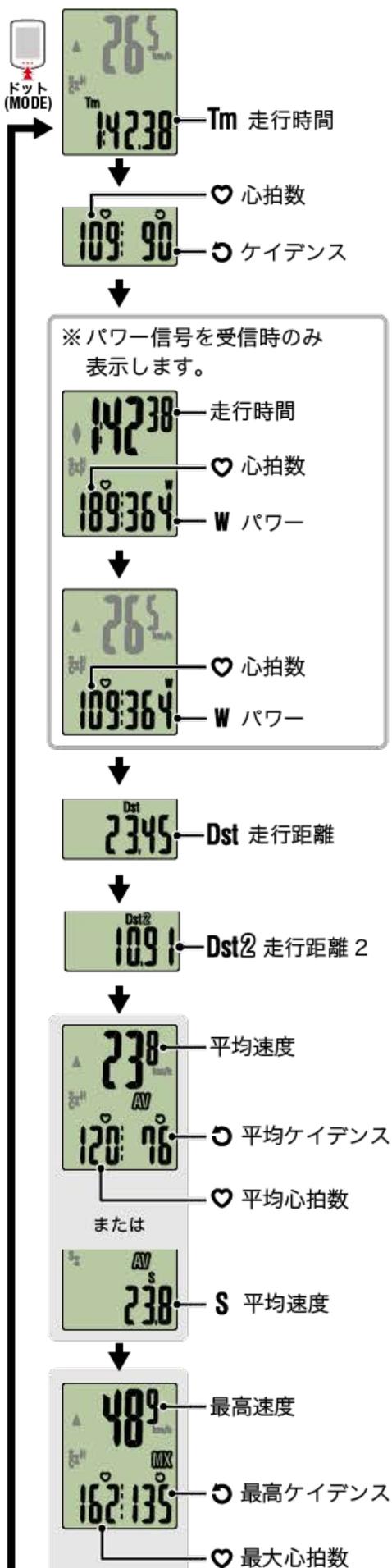
※ 積算距離 (Odo) はリセットできません。

#### ● 計測時の機能

計測データの切替

MODEを押すと下段の選択データが切替ります。

※ 表示するデータはセンサーの接続状態により変化します。





※ 心拍数・ケイデンス関連データは、各センサーをペアリングしないと表示されません。

※ 各平均値は、走行時間が約27時間を超えると.Eを表示します。また平均速度は走行距離が1000 kmを超えた場合も同様です。

リセット操作し、新たに計測を開始すると平均値の計測が可能になります。

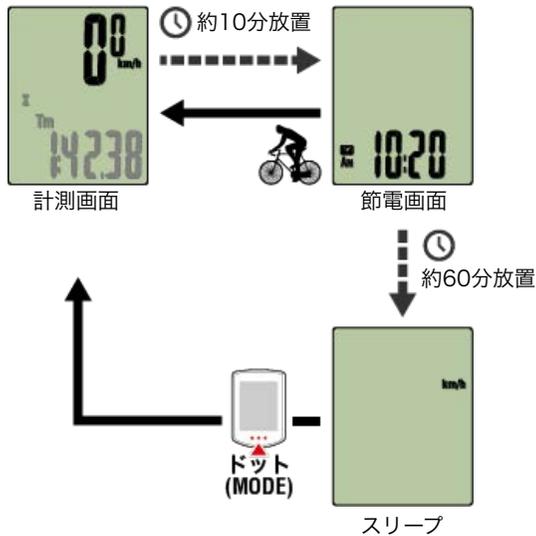
 リセット操作

## 節電機能

### ストラダスマートで

10分間センサー信号やボタン操作がないと節電画面になります。この状態が更に1時間続くとスリープ表示になります。

節電画面では自転車が動き出すと計測画面に戻ります。



## パワーセンサーをお持ちの場合

ペアリングしたパワーセンサーから信号を受信すると、選択データにパワー値を表示します。

### ストラダスマートで



※ 999を超えるパワー値は、下3桁を表示します。

※ 精度を高めるため、パワー計測前のキャリブレーションをお勧めします。

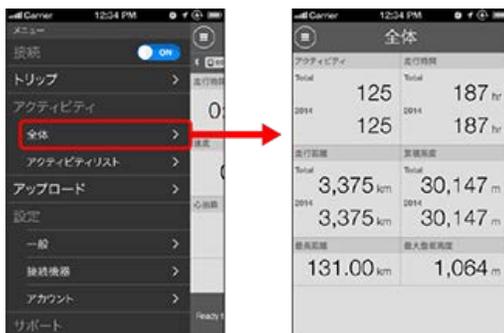
 **パワーセンサーのキャリブレーション**

スマートフォンとストラダスマートをお持ちの方

## アクティビティの累計確認

スマートフォンで

1. (メニュー) - [全体] をタップします



※ Cateye Cycling™に保存したすべてのアクティビティの累積値と1トリップでの最大値が確認できます。

## アクティビティの確認

## アクティビティの一括アップロード

## サマリーデータのインポート

## スマートフォンとストラダスマートをお持ちの方

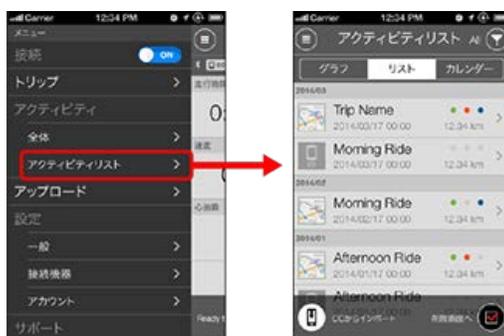
### アクティビティの累計確認

### アクティビティの確認

アクティビティ（トリップデータとサマリーデータの総称）はアクティビティリストで確認できます。

スマートフォンで

#### 1. (メニュー) - [アクティビティリスト] をタップします



※ [アクティビティリスト] はグラフ/リスト/カレンダーで表示できます。

※ (選択して削除) をタップするとアクティビティ削除画面へ移行します。

削除するアクティビティにチェックを付け、(削除) をタップしてください。

#### 2. 各アクティビティはタップすると詳細の確認とアップロード・削除が行えます



・ (アップロード) :  
サービスサイトへのアップロード

・ (削除) :  
アクティビティ削除

### アクティビティの一括アップロード

### サマリーデータのインポート

スマートフォンとストラダスマートをお持ちの方

アクティビティの累計確認

アクティビティの確認

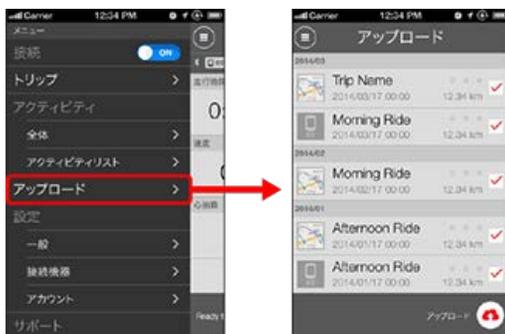
アクティビティの一括アップロード

アクティビティは一括してサービスサイトにアップロードできます。

スマートフォンで

1.  (メニュー) - [アップロード] をタップします。

※ 既にサービスサイトにアップしたアクティビティは表示されません。



2. 任意のアクティビティにチェックを付けて  (アップロード) をタップすると指定したサイトにアップロードされます

※ 事前にサービスサイトのアカウント設定が必要です。

※ 一括アップロードでのアップロード先は [アカウント] でオンにしたサイトになります。

 アカウント

サマリーデータのインポート

スマートフォンとストラダスマートをお持ちの方

アクティビティの累計確認

アクティビティの確認

アクティビティの一括アップロード

サマリーデータのインポート

スマートフォンで

1. Cateye Cycling™を起動し、☰（メニュー）の【接続】をオンにします

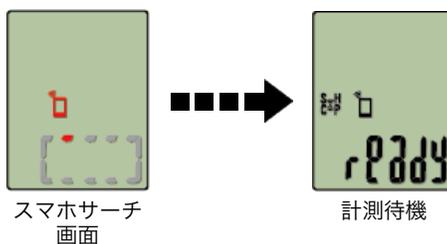


ストラダスマートで

2. MODEを押してスマホサーチ画面を表示し、スマートフォンと接続します

※ 計測画面を表示している場合はMODEを1秒間押すとスマホサーチ画面に変わります。

スマートフォンと接続すると計測待機表示に切替ります。

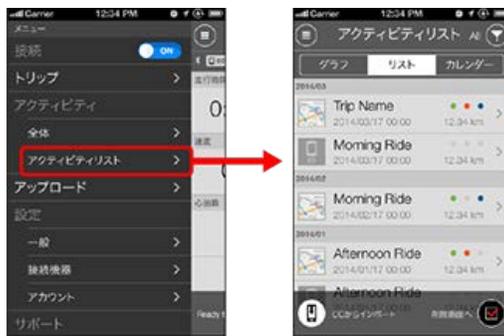


※ ストラダスマートの画面はCateye Cycling™の状態により異なります。

※ Cateye Cycling™で計測中の場合、インポートは行えません。

スマートフォンで

3. ☰（メニュー） - 【アクティビティリスト】をタップします



ストラダスマートにサマリーデータがある場合、 (CCからインポート)が表示されます。

ボタンをタップするとスマートフォンにサマリーデータがインポートされ、アクティビティストに反映されます。

※ この操作でストラダスマート内のサマリーデータは消去されます。

## スマートフォンとストラダスマートをお持ちの方

### 一般

ミラーモードに関する各種設定を行います。

#### スマートフォンで

#### 1. (メニュー) - [一般] をタップします



- **記録間隔**  
ログを記録する間隔を選択できます。
- **通知設定**  
着信通知（電話・メール）とスマートフォンのバッテリー残量通知を設定できます。
- **単位**  
計測単位を選択します。

#### 重要

ストラダスマートと未接続の状態ですべての単位を変更した場合は、次回接続時にどちらの単位を適用するかを選択します。

- **オートポーズ**  
計測中にスマートフォンを持って自転車から離れ、スマートフォンとストラダスマートの接続が切断したときに自動的に計測を一時停止する機能です。

#### 接続機器

#### アカウント

## スマートフォンとストラダスマートをお持ちの方

### 一般

### 接続機器

接続機器（ストラダスマートやセンサー）の設定を行います。

#### 重要

接続機器の設定内容はストラダスマートとスマートフォンを接続した時点で共有されません。

#### iPhoneと他社製センサーを使用する場合

他社製センサーの設定内容は共有されません。センサーダイレクトモードで計測する際はストラダスマートで再度設定する必要があります。

### スマートフォンで

#### 1. (メニュー) - [接続機器] をタップします



### サイクロコンピュータ（ストラダスマート）

#### 重要

ストラダスマートと接続中のみ設定可能です。



- **画面カスタマイズ**  
上段表示と下段表示の内容を指定できます。
- **積算距離**  
積算距離の初期値を入力できます。  
※ 買替時や再設定する場合に活用してください。
- **時刻表示**

時刻表示を12時間/24時間表示に切替えます。

## センサー

### 重要

ストラダスマートと未接続でも変更可能です。

双方の設定値が異なる場合は次回接続時にどちらを適用するか選択します。



### タイヤ周長

スピード計測可能なセンサーのタイヤ周長を入力します。

 **タイヤ周長の求め方**

## アカウント

スマートフォンとストラダスマートをお持ちの方

一般

接続機器

アカウント

アクティビティをアップロードするサービスサイト、SNSに関する各種設定を行います。

## 1. (メニュー) - [アカウント] をタップします



以下のサービスサイトのアカウント設定を行います。

※ 事前に各サイトのアカウントが必要です。

### サービスサイト

- ・ CATEYE Atlas™
- ・ STRAVA™
- ・ TRAINING PEAKS™

### SNS

- ・ Facebook™
- ・ Twitter™

※ SNSには、CATEYE Atlas™にアップロードしたアクティビティのリンクが投稿されます。

## スマートフォンとストラダスマートをお持ちの方

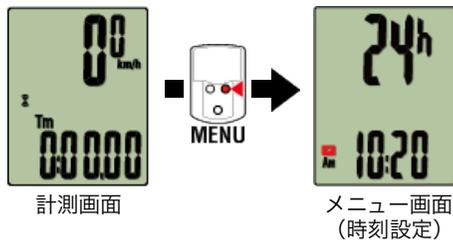
### ペアリング（センサーID照合）

ストラダスマートで受信するセンサーをペアリングします。

#### 重要

- ・ センサーの使用には、必ずペアリング（センサーID照合）が必要です。
- ・ ペアリングは、レース会場など複数の使用者がいる場所では行わないでください。他のセンサーとペアリングする恐れがあります。
- ・ 使用するセンサーはすべてペアリングしてください。

#### 1. 計測画面からMENUを押してメニュー画面に切替えます



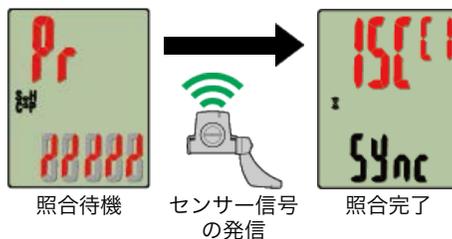
※ メニュー画面は1分間放置すると計測画面に戻ります。

#### 2. MODEを押して図の画面を表示させ、MODEを2秒間押します



#### 3. ペアリングするセンサー信号を発信させます。

##### 👉 センサー信号の発信方法



照合したセンサーを画面上段に表示し、ペアリングが完了します。

#### 重要

画面に【FULL】を表示してメニューに戻る場合：ストラダスマートでペアリングできるセンサーは最大9IDです。この場合は照合待機状態でMENUを4秒間押し続け、すべてのペアリングを消去します。その後、改めて必要なセンサーをペアリングしてください。

※ ペアリングの待受時間は5分間です。この間にセンサー信号を発信させてください。

---

#### 4. MENUを押してペアリングを確定します

引続き、他のセンサーとペアリングする場合は、同じ操作を繰り返してください。  
もう一度、MENUを押すと計測画面に戻ります。

※ 設定を変更した場合は、必ずMENUを押して変更内容を確定してください。

タイヤ設定

スマートフォンとストラダスマートをお持ちの方

## ペアリング（センサーID照合）

### タイヤ設定

スピード計測可能なセンサーにタイヤ周長を設定します。

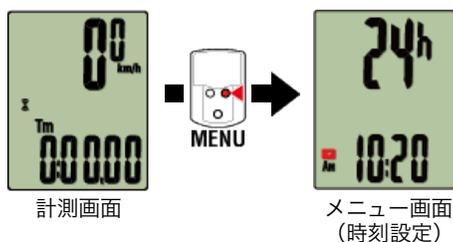
#### 重 要

- ・ 事前にセンサーのペアリング（センサーID照合）が必要です。

#### ペアリング（センサーID照合）

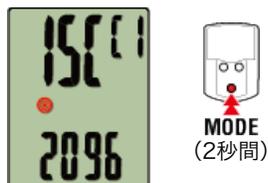
- ・ タイヤ周長はセンサー毎に設定してください。初期値は2096 mm (700x23c)が割り当てられています。

#### 1. 計測画面からMENUを押してメニュー画面に切替えます



※ メニュー画面は1分間放置すると計測画面に戻ります。

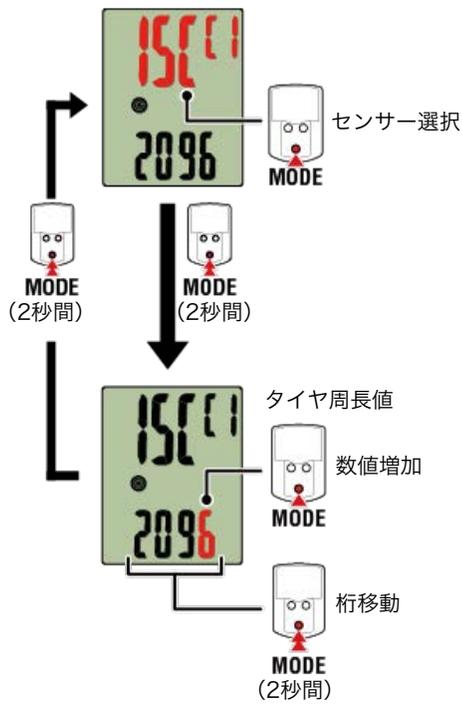
#### 2. MODEを押して （タイヤアイコン）を表示させ、MODEを2秒間押します



#### 3. 周長を設定するセンサーを選び、タイヤ周長を入力します

センサー装着側のタイヤ周長（タイヤの外周長さ）をmm単位で入力します。  
(設定範囲：0100～3999 mm)

#### タイヤ周長の求め方



※ ペアリング済みのセンサーのみ選択できます。

※ 設定範囲外の数値を入力するとErrorが表示されます。

#### 4. MENUを押して設定を確定します

もう一度、MENUを押すと計測画面に戻ります。

※ 設定を変更した場合は、必ずMENUを押して変更内容を確定してください。

## ストラダスマートのみお持ちの方

### 概要

ストラダスマートを一般的なサイクロコンピュータとして使用します。  
この使い方をセンサーダイレクトモードと呼び、各種センサー（スピード、ケイデンス、心拍、パワー）からの信号をストラダスマートが受信して計測します。



The Bluetooth word mark and logos are owned by the Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by CATEYE Co., Ltd. is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.

### ●画面表示について

ストラダスマート画面

### 計測する

計測の開始/停止

### 設定を変更する

ストラダスマートの各種設定を変更します。

時刻設定

タイヤ設定

ペアリング

上段表示設定

ファンクション設定

積算距離手入力

計測単位設定

## ストラダスマートのみお持ちの方

### ストラダスマート画面



#### 表示内容

##### ① 上段表示データ

走行速度を表示します。

※ 心拍数やケイデンス表示に変更できます。

 上段表示設定

##### ② 選択データ

**MODE**を押すごとに計測値を切替えます。

※ 数値が点滅する場合は、センサーの電池交換時期です。

###### ・ 速度・ケイデンス・心拍数が点滅する：

CATEYE製センサーを使用している場合、センサーの電池交換時期に関連する数値が点滅します。

 電池の交換：オプションセンサー

###### ・ パワーが点滅する：

左右独立型パワーセンサーを使用している場合、片方の信号が途絶えると点滅します。

##### ③ ドット部 (MODEボタン)

ブラケット装着時はドット部を押すと裏面の**MODE**が押されます。



#### アイコン説明

##### (バッテリーアラーム)

ストラダスマートの電池残量が低下すると点滅します。

点滅時は、早めに電池を交換してください。

 電池の交換：ストラダスマート

##### (メモリアラーム)

スマートフォンと連携する際に必要な情報です。アイコンが点灯しても計測に影響はありません。

## (ベースアロー)

走行速度が平均速度より速い (▲) か遅い (▼) かを表します。

## (センサー信号アイコン)

各種Bluetooth®センサーの受信状態を表します。

### ・ アイコンの種類：

#### **S** (スピード信号)

スピードセンサーの信号を表します。

#### **C** (ケイデンス信号)

ケイデンスセンサーの信号を表します。

#### **S/C** (SとCが同時表示)

スピード/ケイデンス (ISC) センサーの信号を表します。

#### **H** (心拍信号)

心拍センサーの信号を表します。

#### **P** (パワー信号)

パワーセンサーの信号を表します。

### ・ アイコンの状態：

#### 点滅

信号受信中

#### 消灯

信号なし

## (タイヤサイズ)

タイヤ周長を設定中に表示します。

## **km/h**・**m/h**・**rpm**・**bpm** (計測単位)

選択中の計測単位を表示します。

### ・ 点灯

計測停止中

### ・ 点滅

計測中

## **AV** (平均値)

表示中の値が平均値であることを表します。

## **MX** (最高・最大値)

表示中の値が最高 (最大) 値であることを表します。

### 選択データ

現在表示中の選択データを表します。

### ・ **Odo** (積算距離)

### ・ **Tm** (走行時間)

### ・ (心拍数)

### ・ **Dst** (走行距離)

### ・ **Dst2** (走行距離2)

### ・ **S** (走行速度)

### ・ (ケイデンス)

### ・ **W** (パワー)

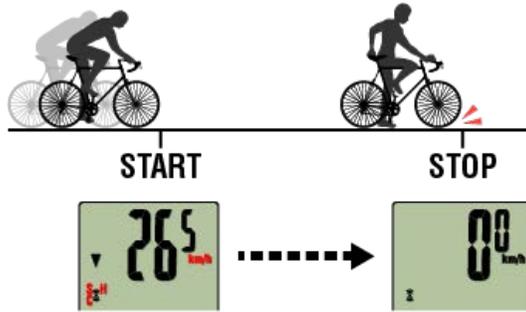
### ・ (時刻)

## ストラダスマートのみお持ちの方

### 計測の開始/停止

#### ▶ 計測の開始/停止

自転車の動きに合わせて自動で計測を行います。  
計測中は、計測単位が点滅します。



#### ▶ リセット操作

計測画面で**MODE**を3秒間押すと、計測データを0に戻します。

※ **MODE**は1秒間押した時点で一時的にスマートフォンをサーチする画面を表示しますがそのまま押し続けてください。

この画面で停止したときは、もう一度**MODE**を1秒間押すと計測画面に戻ります。

リセット



ドット  
(MODE)  
(3秒間)

#### ● 走行距離2 (Dst2) のリセット

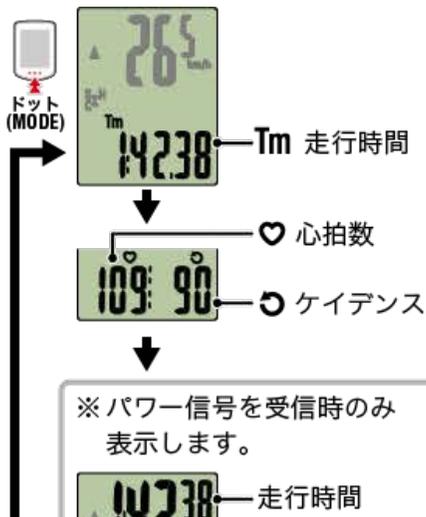
走行距離2 (Dst2) を表示させて**MODE**を3秒間押すと、走行距離2のみ0に戻ります。

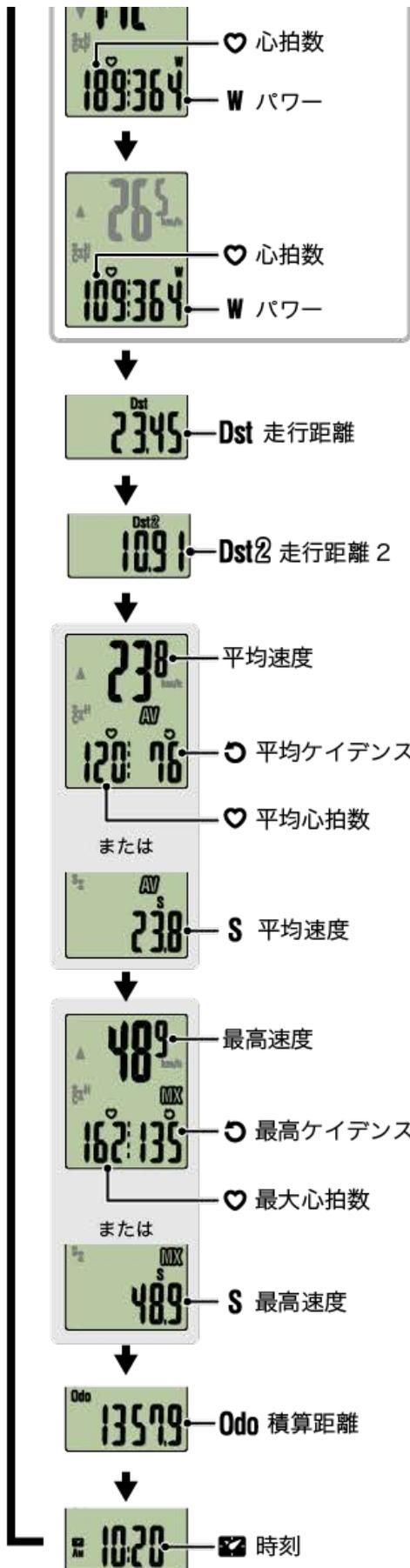
※ 積算距離 (Odo) はリセットできません。

#### ▶ 計測データの切替

**MODE**を押すと下段の選択データが切替ります。

※ 表示するデータはセンサーの接続状態により変化します。





※ 心拍数・ケイデンス関連データは、各センサーをペアリングしないと表示されません。

※ 各平均値は、走行時間が約27時間を超えると.Eを表示します。また平均速度は走行距離が1000 kmを超えた場合も同様です。

リセット操作し、新たに計測を開始すると平均値の計測が可能になります。

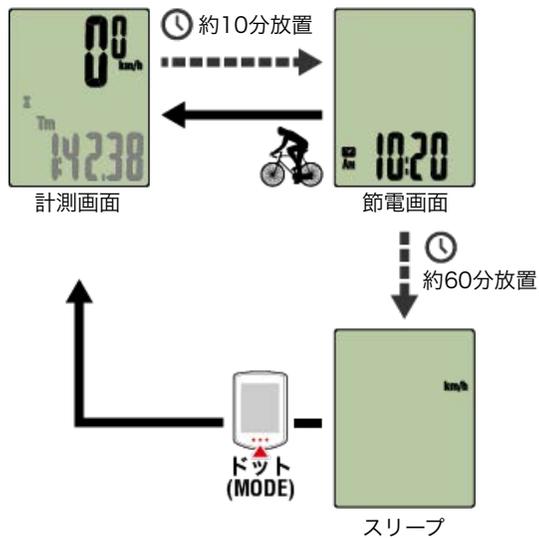
 リセット操作

---

## ▶ 節電機能

10分間センサー信号やボタン操作がないと節電画面になります。この状態が更に1時間続くとスリープ表示になります。

節電画面では自転車が動き出すと計測画面に戻ります。



---

## ▶ パワーセンサーをお持ちの場合

ペアリングしたパワーセンサーから信号を受信すると、選択データにパワー値を表示します。



※ 999を超えるパワー値は、下3桁を表示します。

※ パワー計測前に、定期的なキャリブレーションをお勧めします。

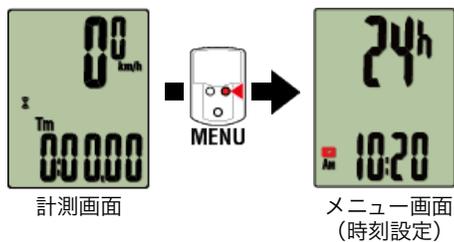
### パワーセンサーのキャリブレーション

---

ストラダスマートのみお持ちの方

## 時刻設定

1. 計測画面からMENUを押してメニュー画面に切替えます

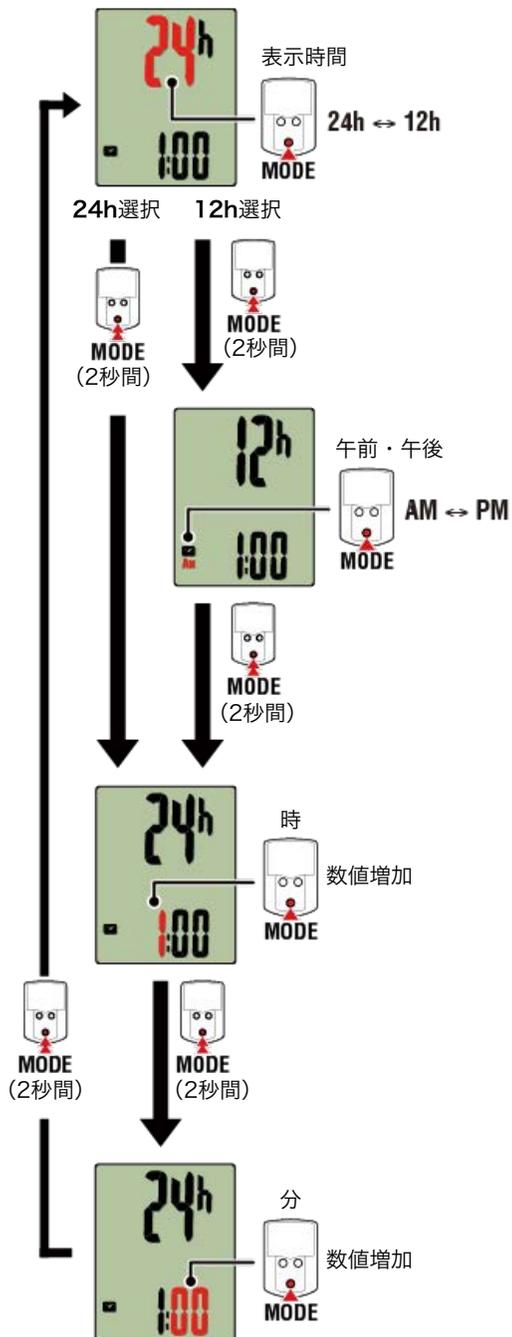


※ メニュー画面は1分間放置すると計測画面に戻ります。

2.  (時刻アイコン) が点滅していることを確認してMODEを2秒間押します



3. 表示時間と時刻を設定します



#### 4. MENUを押して設定を確定します

もう一度、MENUを押すと計測画面に戻ります。

※ 設定を変更した場合は、必ずMENUを押して変更内容を確定してください。

タイヤ設定

ペアリング

上段表示切替

ファンクション設定

積算距離手入力

計測単位設定

## ストラダスマートのみお持ちの方

### 時刻設定

### タイヤ設定

スピード計測可能なセンサーにタイヤ周長を設定します。

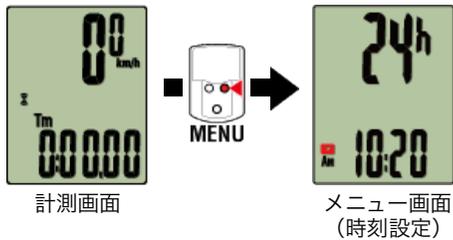
#### 重要

- ・ 事前にセンサーのペアリング（センサーID照合）が必要です。

#### ペアリング（センサーID照合）

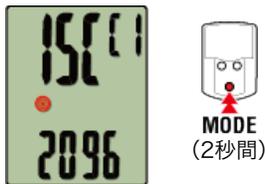
- ・ タイヤ周長はセンサー毎に設定してください。初期値は2096 mm (700x23c)が割当てられています。

### 1. 計測画面からMENUを押してメニュー画面に切替えます



※ メニュー画面は1分間放置すると計測画面に戻ります。

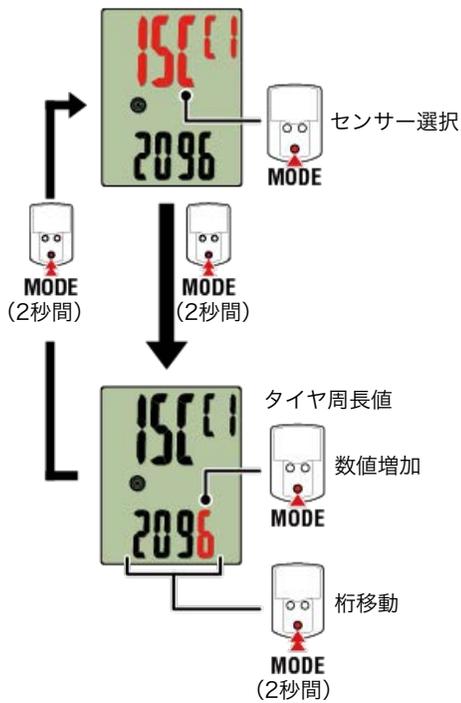
### 2. MODEを押して (タイヤアイコン) を表示させ、MODEを2秒間押しします



### 3. 周長を設定するセンサーを選び、タイヤ周長を入力します

センサー装着側のタイヤ周長（タイヤの外周長さ）をmm単位で入力します。  
(設定範囲：0100～3999 mm)

#### タイヤ周長の求め方



※ ペアリング済みのセンサーのみ選択できます。

※ 設定範囲外の数値を入力するとErrorが表示されます。

#### 4. MENUを押して設定を確定します

もう一度、MENUを押すと計測画面に戻ります。

※ 設定を変更した場合は、必ずMENUを押して変更内容を確定してください。

|           |
|-----------|
| ペアリング     |
| 上段表示切替    |
| ファンクション設定 |
| 積算距離手入力   |
| 計測単位設定    |

## ストラダスマートのみお持ちの方

時刻設定

タイヤ設定

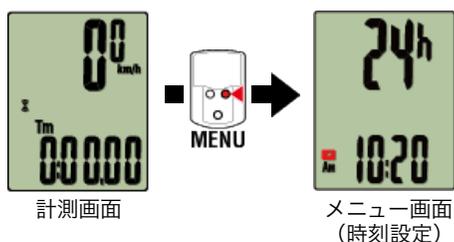
ペアリング

ストラダスマートで受信するセンサーをペアリングします。

### 重要

- ・ センサーの使用には、必ずペアリング（センサーID照合）が必要です。
- ・ ペアリングは、レース会場など複数の使用者がいる場所では行わないでください。他のセンサーとペアリングする恐れがあります。
- ・ 使用するセンサーはすべてペアリングしてください。

### 1. 計測画面からMENUを押してメニュー画面に切替えます



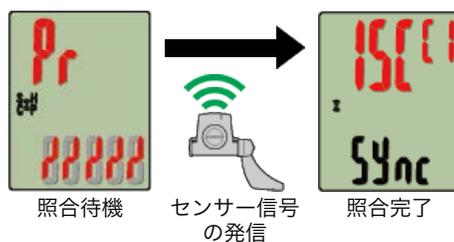
※ メニュー画面は1分間放置すると計測画面に戻ります。

### 2. MODEを押して図の画面を表示させ、MODEを2秒間押します



### 3. ペアリングするセンサー信号を発信させます。

#### 👉 センサー信号の発信方法



照合したセンサーを画面上段に表示し、ペアリングが完了します。

## 重 要

画面に【FULL】を表示してメニューに戻る場合：ストラダスマートでペアリングできるセンサーは最大9IDです。この場合は照合待機状態でMENUを4秒間押し続け、すべてのペアリングを消去します。その後、改めて必要なセンサーをペアリングしてください。

※ ペアリングの待受時間は5分間です。この間にセンサー信号を発信させてください。

---

### 4. MENUを押してペアリングを確定します

引続き、他のセンサーとペアリングする場合は、同じ操作を繰り返してください。  
もう一度、MENUを押すと計測画面に戻ります。

※ 設定を変更した場合は、必ずMENUを押して変更内容を確定してください。

上段表示切替

ファンクション設定

積算距離手入力

計測単位設定

## ストラダスマートのみお持ちの方

時刻設定

タイヤ設定

ペアリング

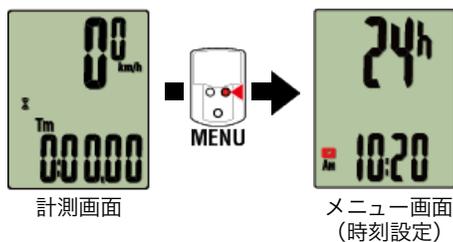
上段表示設定

上段表示は走行速度・ケイデンス・心拍数から選択できます。

### 重要

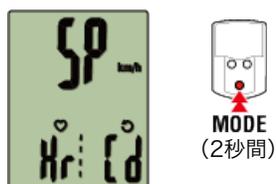
ペアリングしていないセンサーが必要な計測項目は選択できません。

### 1. 計測画面からMENUを押してメニュー画面に切替えます

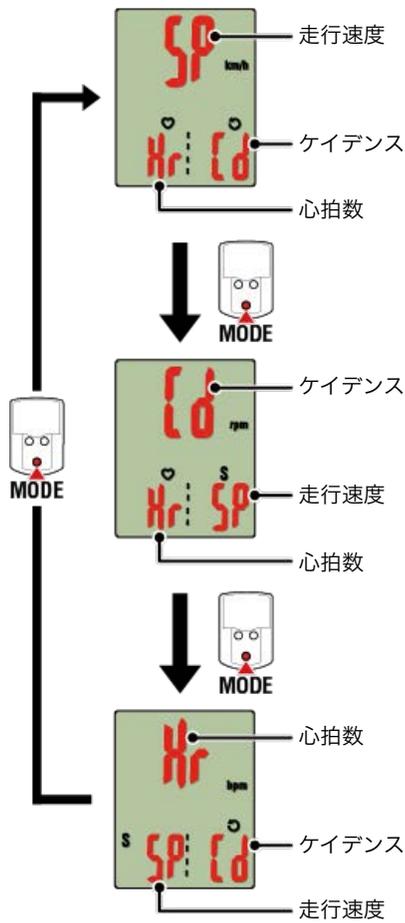


※ メニュー画面は1分間放置すると計測画面に戻ります。

### 2. MODEを押して図の画面を表示させ、MODEを2秒間押します



### 3. MODEを押して3つの表示から選択します



#### 4. MENUを押して設定を確定します

もう一度、MENUを押すと計測画面に戻ります。

※ 設定を変更した場合は、必ずMENUを押して変更内容を確定してください。

ファンクション設定

積算距離手入力

計測単位設定

ストラダスマートのみお持ちの方

時刻設定

タイヤ設定

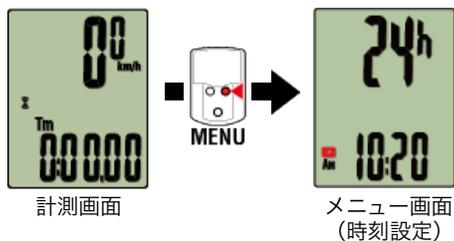
ペアリング

上段表示設定

ファンクション設定

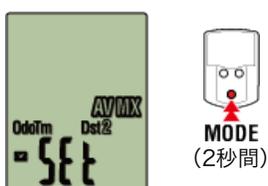
画面下段に表示する選択データから任意のデータをスキップできます。

### 1. 計測画面からMENUを押してメニュー画面に切替えます

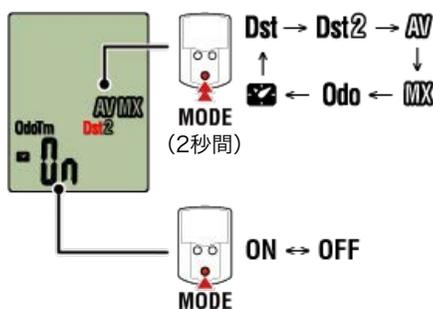


※ メニュー画面は1分間放置すると計測画面に戻ります。

### 2. MODEを押して図の画面を表示させ、MODEを2秒間押します



### 3. スキップする選択データのアイコンを点滅させてOFFに切替えます



※ 走行速度、走行時間、心拍数、ケイデンス、パワーはスキップできません。

### 4. MENUを押して設定を確定します

もう一度、**MENU**を押すと計測画面に戻ります。

※ 設定を変更した場合は、必ず**MENU**を押して変更内容を確定してください。

積算距離手入力

計測単位設定

ストラダスマートのみお持ちの方

時刻設定

タイヤ設定

ペアリング

上段表示設定

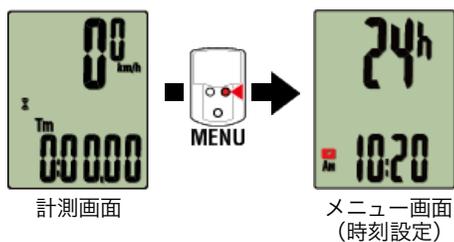
ファンクション設定

積算距離手入力

積算距離に任意の数値を入力すると、その値からスタートできます。

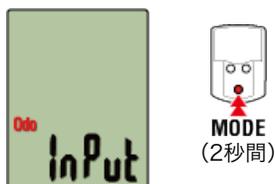
※ 買替による計測値の引継ぎや再設定する場合に活用できます。

1. 計測画面からMENUを押してメニュー画面に切替えます



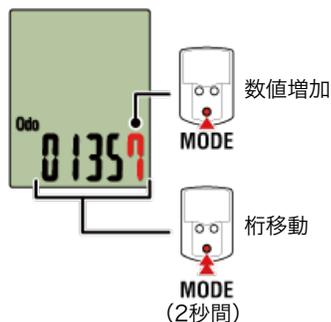
※ メニュー画面は1分間放置すると計測画面に戻ります。

2. MODEを押して図の画面を表示させ、MODEを2秒間押します



3. 積算距離を入力します

※ 小数は入力できません。



---

#### 4. MENUを押して設定を確定します

もう一度、MENUを押すと計測画面に戻ります。

※ 設定を変更した場合は、必ずMENUを押して変更内容を確定してください。

計測単位設定

ストラーダスマートのみお持ちの方

時刻設定

タイヤ設定

ペアリング

上段表示設定

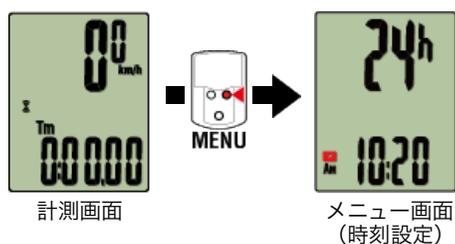
ファンクション設定

積算距離手入力

計測単位設定

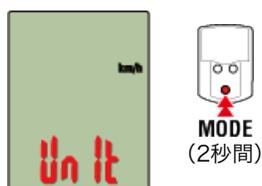
計測単位 (kmまたはmile) を選択できます。

1. 計測画面からMENUを押してメニュー画面に切替えます

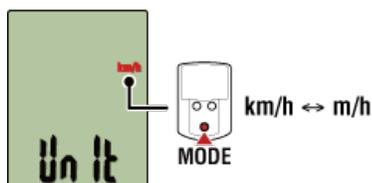


※ メニュー画面は1分間放置すると計測画面に戻ります。

2. MODEを押して図の画面を表示させ、MODEを2秒間押します



3. MODEを押して計測単位を選びます



4. MENUを押して設定を確定します

もう一度、MENUを押すと計測画面に戻ります。

- ※ 設定を変更した場合は、必ず**MENU**を押して変更内容を確定してください。
- ※ 計測単位を変更すると、これまで計測した計測値は変更後の単位で自動換算されます。

## スマートフォン（アプリ）のみお持ちの方



1

2

3

## スマートフォン（アプリ）のみお持ちの方



1

2

3

## スマートフォン（アプリ）のみお持ちの方



1

2

3

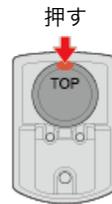
## 電池の交換

### ストラダスマート

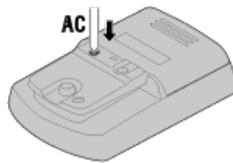
画面に  (バッテリーアイコン) が点灯したら電池の交換時期です。  
新しいリチウム電池 (CR2032) を (+) 側が上面に見えるように挿入します。



※ 防水カバーは、カバー上部のふちを押して取外します。  
取付けは、TOP側が上面に見えるようにかぶせてください。



※ 交換後は、裏面のACを押してください。  
(リスタート操作)



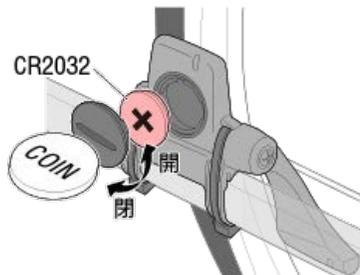
### オプションセンサー

#### 重要

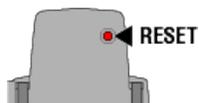
CATEYE製センサーをご使用の場合、センサーの電池交換時期に関連する数値が点滅して通知します。

#### スピードセンサー (ISC-12)

ストラダスマートの走行速度やケイデンスが点滅すると電池の交換時期です。  
新しいリチウム電池 (CR2032) を (+) 側が見えるように挿入し、バッテリーカバーをしっかり閉めます。



※ 交換後は必ず**RESET**を押して、マグネットとの位置関係を確認してください。

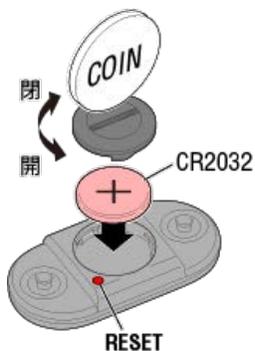


---

### 心拍センサー (HR-12)

ストラダスマートの心拍数が点滅すると電池の交換時期です。

新しいリチウム電池 (CR2032) を (+) 側が見えるように挿入し、バッテリーカバーをしっかりと閉めます。



※ 交換後は必ず**RESET**を押してください。

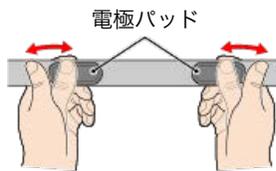
## センサー信号の発信方法

次の方法でセンサー信号を発信します。

- ・ **スピードセンサー、スピード/ケイデンス (ISC) センサー、ケイデンスセンサー**  
マグネットをセンサーゾーンに数回近づける。(間隔3 mm以内)



- ・ **心拍センサー**  
両方の電極パッドを親指でこすり、心拍信号を発信させる。



- ・ **パワーセンサー**  
パワーセンサーの取扱説明書をご覧ください。

## タイヤ周長の求め方

タイヤ周長 (L) は、タイヤ周長ガイドまたは自転車のタイヤを実測して求めてください。

### タイヤ周長ガイド

※ ETRTOやタイヤサイズはタイヤの側面に記載されています。

| ETRTO  | タイヤサイズ         | L (mm) |
|--------|----------------|--------|
| 47-203 | 12x1.75        | 935    |
| 54-203 | 12x1.95        | 940    |
| 40-254 | 14x1.50        | 1020   |
| 47-254 | 14x1.75        | 1055   |
| 40-305 | 16x1.50        | 1185   |
| 47-305 | 16x1.75        | 1195   |
| 54-305 | 16x2.00        | 1245   |
| 28-349 | 16x1-1/8       | 1290   |
| 37-349 | 16x1-3/8       | 1300   |
| 32-369 | 17x1-1/4 (369) | 1340   |
| 40-355 | 18x1.50        | 1340   |
| 47-355 | 18x1.75        | 1350   |
| 32-406 | 20x1.25        | 1450   |
| 35-406 | 20x1.35        | 1460   |
| 40-406 | 20x1.50        | 1490   |
| 47-406 | 20x1.75        | 1515   |
| 50-406 | 20x1.95        | 1565   |
| 28-451 | 20x1-1/8       | 1545   |
| 37-451 | 20x1-3/8       | 1615   |
| 37-501 | 22x1-3/8       | 1770   |
| 40-501 | 22x1-1/2       | 1785   |
| 47-507 | 24x1.75        | 1890   |
| 50-507 | 24x2.00        | 1925   |
| 54-507 | 24x2.125       | 1965   |
| 25-520 | 24x1 (520)     | 1753   |
|        | 24x3/4 Tubular | 1785   |
| 28-540 | 24x1-1/8       | 1795   |
| 32-540 | 24x1-1/4       | 1905   |
| 25-559 | 26x1 (559)     | 1913   |
| 32-559 | 26x1.25        | 1950   |
| 37-559 | 26x1.40        | 2005   |
| 40-559 | 26x1.50        | 2010   |
| 47-559 | 26x1.75        | 2023   |
| 50-559 | 26x1.95        | 2050   |
| 54-559 | 26x2.10        | 2068   |
| 57-559 | 26x2.125       | 2070   |
| 58-559 | 26x2.35        | 2083   |

|               |                        |             |
|---------------|------------------------|-------------|
| 75-559        | 26x3.00                | 2170        |
| 28-590        | 26x1-1/8               | 1970        |
| 37-590        | 26x1-3/8               | 2068        |
| 37-584        | 26x1-1/2               | 2100        |
|               | 650C Tubular<br>26x7/8 | 1920        |
| 20-571        | 650x20C                | 1938        |
| 23-571        | 650x23C                | 1944        |
| 25-571        | 650x25C 26x1<br>(571)  | 1952        |
| 40-590        | 650x38A                | 2125        |
| 40-584        | 650x38B                | 2105        |
| 25-630        | 27x1 (630)             | 2145        |
| 28-630        | 27x1-1/8               | 2155        |
| 32-630        | 27x1-1/4               | 2161        |
| 37-630        | 27x1-3/8               | 2169        |
| 40-584        | 27.5x1.50              | 2079        |
| 54-584        | 27.5x2.1               | 2148        |
| 57-584        | 27.5x2.25              | 2182        |
| 18-622        | 700x18C                | 2070        |
| 19-622        | 700x19C                | 2080        |
| 20-622        | 700x20C                | 2086        |
| <b>23-622</b> | <b>700x23C</b>         | <b>2096</b> |
| 25-622        | 700x25C                | 2105        |
| 28-622        | 700x28C                | 2136        |
| 30-622        | 700x30C                | 2146        |
| 32-622        | 700x32C                | 2155        |
|               | 700C Tubular           | 2130        |
| 35-622        | 700x35C                | 2168        |
| 38-622        | 700x38C                | 2180        |
| 40-622        | 700x40C                | 2200        |
| 42-622        | 700x42C                | 2224        |
| 44-622        | 700x44C                | 2235        |
| 45-622        | 700x45C                | 2242        |
| 47-622        | 700x47C                | 2268        |
| 54-622        | 29x2.1                 | 2288        |
| 56-622        | 29x2.2                 | 2298        |
| 60-622        | 29x2.3                 | 2326        |

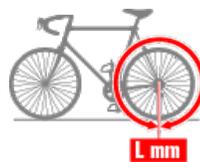
### 自転車のタイヤ周長を実測する

タイヤの空気圧を適正にした状態で、自転車に荷重をかけます。  
バルブなどを基準にタイヤを1回転させ、路面の寸法を測ります。

前輪でスピード  
計測する場合



後輪でスピード  
計測する場合



## タイヤ周長の求め方

より正確なタイヤ周長(L)を知る場合は以下の方法で実測します。

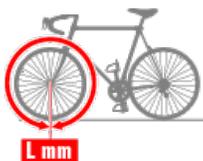
※ Cateye Cycling™ではタイヤに記載のサイズを選択する簡易方法があります。

### 自転車のタイヤ周長 (L) を実測する

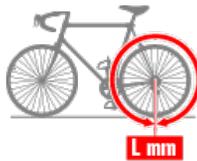
タイヤの空気圧を適正にした状態で、自転車に荷重をかけます。

バルブなどを基準にタイヤを1回転させ、路面の寸法を測ります。

前輪でスピード  
計測する場合



後輪でスピード  
計測する場合



## パワーセンサーのキャリブレーション

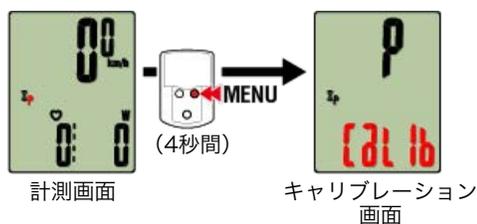
パワーセンサーは使い続けると無負荷状態に若干のずれが生じてきます。  
定期的にキャリブレーションを行って補正してください。  
特に重要な計測をする場合は、事前のキャリブレーションをお勧めします。

### 注意

- ・ キャリブレーションを開始する前にパワーセンサーの取扱説明書をご覧になり、キャリブレーション時の注意事項をご確認ください。キャリブレーションに失敗すると正確なパワー計測は行えません。
- ・ 必ずパワーセンサー装着部品（クランクなど）に力をかけていない状態で行ってください。

### ストラダスマートで

計測停止中に計測画面で**MENU**を4秒間押します。



3秒後、キャリブレーションが完了します。

## パワーセンサーのキャリブレーション

パワーセンサーは使い続けると無負荷状態に若干のずれが生じてきます。定期的にキャリブレーションを行って補正してください。特に重要な計測をする場合は、事前のキャリブレーションをお勧めします。

### 注 意

- ・ キャリブレーションを開始する前にパワーセンサーの取扱説明書をご覧になり、キャリブレーション時の注意事項をご確認ください。キャリブレーションに失敗すると正確なパワー計測は行えません。
- ・ 必ずパワーセンサー装着部品（クランクなど）に力をかけていない状態で行ってください。

### スマートフォンで

計測停止中に [トリップ] の [キャリブレーション] をタップします



3秒後、キャリブレーションが完了します。

## よくある質問と答え

### 表示の異常

全般

心拍数

パワー

### 計測できない

ミラーモード計測のとき

センサーダイレクトモード計測のとき

心拍数が計測できない

パワーが計測できない

### データがリセットできない

計測画面で**MODE**を3秒間押すとリセットされます。

### 「トリップの終了」と「記録の完了」の違い

#### トリップの終了とは？

- ・ リセット操作（**MODE**を3秒間押す）と計測値が0に戻ります。これをトリップの終了と呼びます。画面はready表示となり、次のトリップの計測がスタートできます。

#### 記録の完了とは？

- ・ Cateye Cycling™のトリップ画面で （フラッグ）をタップするとトリップを保存・アップロードする画面に移行して一連の記録が完結します。これを記録の完了と呼びます。

### 計測データが記録として残らない

リセット操作してもサマリーデータが記録されていないときがある。

- ・ 0.1km以下の計測はサマリーデータとして記録されません。

## アップロードできない

各サービスサイトのログイン設定は済んでいますか？

- ・ Cateye Cycling™の [メニュー] - [アカウント] で各サイトのアカウント情報を入力しログイン設定してください。

## よくある質問と答え

### 表示の異常：全般

#### まったく表示が出ない

電池の寿命です。新しい電池に交換してください。

 **電池の交換：ストラダスマート**

#### 異常な表示が出る

電磁波等を発生する物（鉄道線路、テレビの送信所など）が近くにあると異常表示が出る場合があります。

原因と思われる物から離れ、ストラダスマートをリセット操作（**MODE**を3秒間押す）し、新たに計測を行ってください。

#### 画面がフリーズする

ストラダスマートをリスタート操作（**AC**ボタンを押す）してください。

#### 画面に **M** が表示される

ストラダスマートのメモリがいっぱいです。

スマートフォンと連携している場合は、Cateye Cycling™に接続してサマリーデータをインポートするとメモリは空になりアイコンが消灯します。

ストラダスマート単体で使用している場合は、計測にはまったく影響ありません。計測を継続してください。

#### 計測数値が点滅する

CATEYE製センサーをご使用の場合、計測値に関連するセンサーの電池寿命が残りわずかであることを示します。

関連するセンサーの電池を交換してください。

 **電池の交換：オプションセンサー**

#### パワーの値が点滅する

左右独立型パワーセンサーを使用している場合、片方の信号が途絶えると点滅します。パワーセンサーを確認してください。

#### 走行速度の値がおかしい

スピード計測可能なセンサーを使用していない場合はスマートフォンのGPSで計測を行うため、トンネルなど受信状況により、計測の中断や実際と異なる値を示します。

## よくある質問と答え

### 表示の異常：心拍数

#### センサーを外しても心拍数が表示される

他社製センサーを使用した場合、心拍数が長時間表示される場合があります。

#### 計測が不安定

##### 心拍センサーは正しく装着されていますか？

- ・心拍センサーの取扱説明書をご覧になり、正しい位置に装着してください。



##### 心拍センサーの装着

- ・心拍センサーはTOPが上を向くように装着してください。
- ・左側の電極部が心臓の上になるよう右にずらして装着し試してください。体質により改善される場合があります。

## 表示の異常：心拍数

### 心拍センサーの装着（HR-12）

心拍計測は胸部に心拍センサーを装着して行います。

#### 心拍センサーを装着する前に

##### 警告

ペースメーカーをご利用の方は、絶対にこの製品をお使いにならないでください。

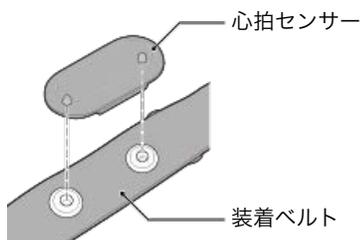
- ・ 計測ミスをなくすため、電極パッドに水または心電計用の電解質クリームを塗ることをおすすめします。
- ・ 皮膚の弱い方は、薄いシャツの上から電極パッドを水で濡らして装着してください。
- ・ 胸毛が計測を妨害することもあります。

#### 動画で見る

#### 静止画で見る

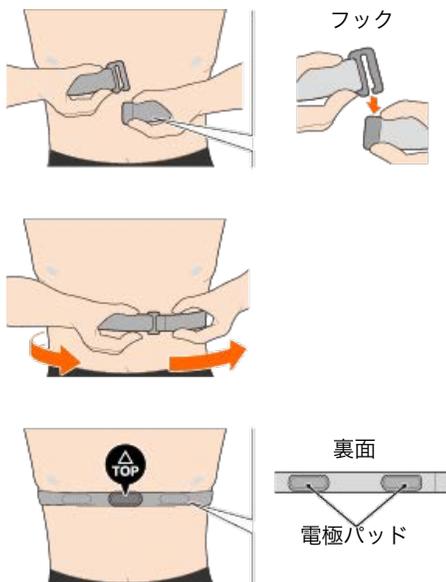
#### 1. 装着ベルトに心拍センサーを取付けます

「パチン」と音がするまで押込んでください。



#### 2. 装着ベルトのフックをもう一方のベルト先端に引っ掛けて装着します

装着ベルトを体に巻付け、胸回り（アンダーバスト）に合わせて装着ベルトの長さを調整します。きつく締めすぎると計測中、苦痛を感じる場合があります。



※ 心拍センサーは**TOP**が上を向くように装着してください。

※ 必ず、電極パッドが身体に密着するようにしてください。

※ 皮膚が乾燥している場合、またはシャツの上から装着した場合、計測ミスが起こることがあります。このような場合は、電極パッドを水で濡らしてご利用ください。

## よくある質問と答え

### 表示の異常：パワー

パワー表示が正確でない

パワーセンサーのキャリブレーションを実行してください。



ミラーモードの場合



センサーダイレクトモードまたはストラダスマート単体の場合

## よくある質問と答え

### 計測できない：ミラーモード計測のとき

ミラーモード計測画面にならない

**Cateye Cycling™**をスマートフォンにインストールしましたか？

- ・ Cateye Cycling™をインストールしてください。  
※ Cateye Cycling™の対応機種については、[製品ページ](#)よりご覧ください。

スマートフォンとストラダスマートをペアリングしましたか？

- ・ Cateye Cycling™でストラダスマートをペアリングしないとミラーモード計測はできません。

 **スマートフォン：ストラダスマートとのペアリング**

**Cateye Cycling™**のメニューで接続が【ON】になっていますか？

- ・ 接続を【ON】にしてください。

センサーダイレクトモードになっていませんか？

- ・ **MODE**を1秒間押してスマホサーチ画面に切替え、スマートフォンと接続してください。

 **スマートフォンとストラダスマートの接続**

ready表示のままに計測がスタートしない

**MODE**を1秒間押すと**Tm**が表示され計測がスタート可能となります。  
Cateye Cycling™の計測開始ボタンをタップしても同様です。

PAUSEと走行距離を交互に表示して計測がスタートしない

計測が一時停止中です。  
**MODE**を1秒間押すと計測が再開できます

走行速度が計測できない

スピードセンサー（ISC-12）を使用している場合は、ホイールマグネットがセンサーゾーンと対面する位置から外れるとスピード信号が0と判断され計測できません。  
（走行速度の計測はセンサーのスピード信号を優先します）

センサー信号を受信しない

センサーのペアリングを行いましたか？

- ・ Cateye Cycling™でセンサーとのペアリングが必要です。

 **スマートフォン：センサーとのペアリング**

お使いのセンサーはBluetooth Smartセンサーですか？

- ・ Bluetooth Smartセンサー以外の信号は受信できません。

---

### センサーの電池が消耗していませんか？

- ・新しい電池に交換してください。

 **電池の交換：オプションセンサー**

---

### スピードセンサーとマグネットの位置関係は正しいですか？

センサーの取扱説明書をご覧になり、正しく取付けてください。

 **スピードセンサーの取付け (ISC-12)**

スピードセンサーなしで計測できない

スピードセンサーを使用しない場合、スマートフォンのGPS捕捉が途絶えると計測できなくなります。

## 計測できない：ミラーモード計測のとき

### ペアリング

#### 重要

- ・ ストラダスマートやセンサーの使用には、必ずペアリング（ID照合）が必要です。
- ・ ペアリングは、レース会場など複数の使用者がいる場所では行わないでください。他の機器とペアリングする恐れがあります。

#### スマートフォンで

1. 画面左上の （メニュー）から [接続] をオンにして、[接続機器] をタップします。



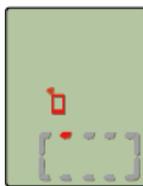
[ペアリング] をタップするとペアリングを開始します。  
それぞれの機器の操作方法は、以下をご覧ください。

#### ストラダスマートとのペアリング

#### ストラダスマートで

1. **MODE**を押してスマホサーチ画面を表示します

※ 計測画面を表示している場合は**MODE**を1秒間押すとスマホサーチ画面に変わります。



スマホサーチ画面

#### スマートフォンで

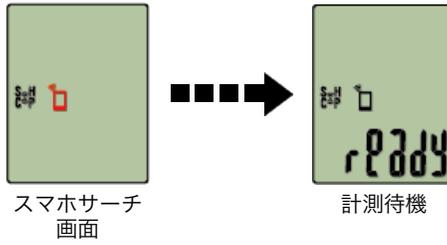
Cateye Cycling™がストラダスマートを検出するとスマートフォンにメッセージを表示します。

[ペアリング] をタップしてペアリングを完了します。

ペアリング完了後、画面左上の （メニュー）から [トリップ] をタップしてトリップ画面に切替えます。

## ストラダスマートで

トリップ画面に切替えるとストラダスマートはスマホサーチ画面から [ready] (計測待機) 表示に切替ります。



以上でストラダスマートのペアリングは完了です。

※ センサーをお持ちの場合は引続き、センサーのペアリングを行なってください。

## センサーとのペアリング

ストラダスマートは、Bluetooth 4.0規格に対応したセンサーを使用します。利用目的に応じてオプションまたは他社製センサーとペアリングしてください。

### 重要

- ・ 使用するセンサーはすべてペアリングしてください。他のセンサーをペアリングする場合は、同じ手順を繰り返します。
- ・ iPhoneと他社製センサーを使用している場合  
センサーダイレクトモードで計測する際はスマートフォンの設定後、以下の手順でストラダスマートのペアリング、タイヤ周長を再設定する必要があります。



#### 1. センサーダイレクトモードの切替

#### 2. ペアリング (センサーID照合)

#### 3. タイヤ設定

## 1. センサー信号を発信させます



### センサー信号の発信方法

Cateye Cycling™がセンサー信号を受信するとスマートフォンにメッセージを表示します。

[ペアリング]をタップすると [接続機器] に照合したセンサー名を表示し、ペアリングが完了します。

※ スピード計測可能なセンサーをペアリングした場合は手順2に進みます。

## スマートフォンで

## 2. タイヤ周長を設定します

[接続機器] から追加されたセンサーをタップして、タイヤ周長 (タイヤの外周長) を選択します。

※ 初期値: 2096 mm (700x23c)

※ タイヤ周長はセンサー毎に設定が必要です。

※ センサー名の変更やペアリング解除もここで行えます。



### タイヤ周長の求め方

以上でセンサーのペアリングは完了です。

※ 使用するセンサーはすべてペアリングしてください。他のセンサーをペアリングする場合は、同じ手順を繰り返します。

## 計測できない：ミラーモード計測のとき

### スマートフォンとストラダスマートの接続

スマートフォンで

1. Cateye Cycling™を起動し、☰（メニュー）の【接続】をオンにします

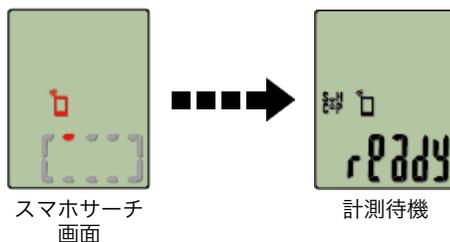


ストラダスマートで

2. MODEを押してスマホサーチ画面を表示し、スマートフォンと接続します

※ 計測画面を表示している場合はMODEを1秒間押すとスマホサーチ画面に変わります。

スマートフォンと接続すると計測待機表示に切替ります。



※ すでにCateye Cycling™で計測中に接続した場合は、計測中の値が表示されます。

※ ストラダスマートの画面はCateye Cycling™の状態により異なります。

以上でスマートフォンとの接続が完了します。

計測できない：ミラーモード計測のとき

## スピードセンサーの取付け (ISC-12)

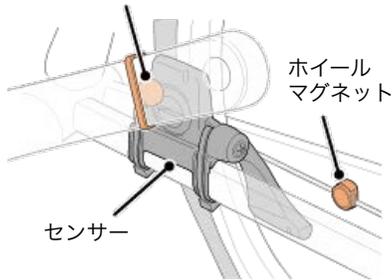
センサーはチェーンステアの上側・下側どちらでも取付け可能です。

動画で見る

静止画で見る

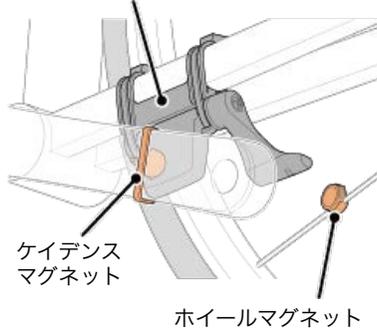
### チェーンステア上側に取付けた場合

ケイデンスマグネット



### チェーンステア下側に取付けた場合

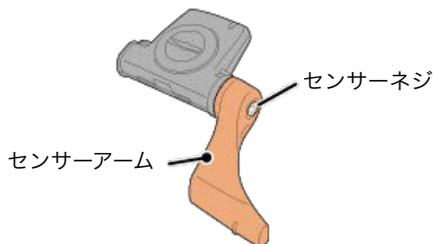
センサー



※ 取付手順は、チェーンステア上側の取付けを例に説明しています。

## 1. センサーを左チェーンステアに仮止めします

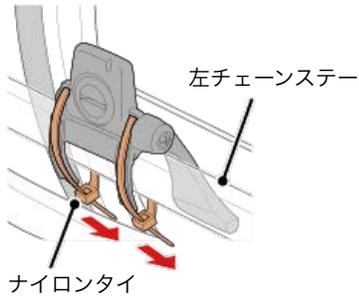
- ① プラスドライバーでセンサーのセンサーネジを緩め、センサーアームが動くことを確認します。



- ② センサーにセンサーゴムパッドを取付けます。



③ 図を参考に左チェーンステーにナイロントイで仮止めします。

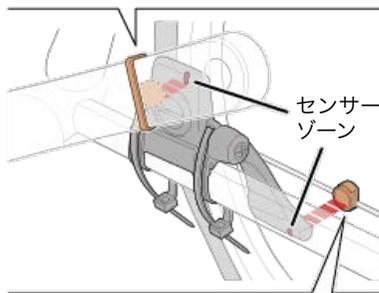
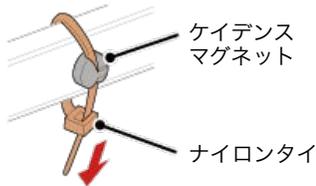


### 注意

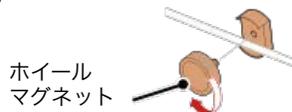
ナイロントイは完全に締付けないでください。  
一旦締付けると引抜くことはできません。

## 2.マグネットを仮止めします

クランク内側



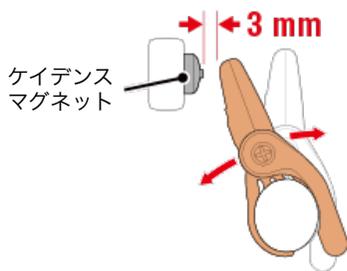
スポーク



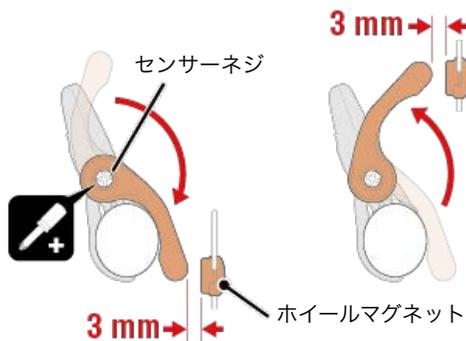
- ① センサーゾーン（ケイデンス側）に対面するようにクランク内側にケイデンスマグネットをナイロントイで仮止めします。
  - ② センサーアームを回転させ、センサーゾーン（スピード側）に対面する位置のスポークにホイールマグネットを仮止めします。
- ※ センサーが両方のマグネット（スピード/ケイデンス）との位置関係を確保できない場合は、センサーとマグネットの位置を移動して各センサーゾーンにマグネットが対面するように調整します。

## 3.センサーゾーンとマグネットの隙間を調整します

- ① ケイデンスマグネットとセンサーゾーン（ケイデンス側）の隙間が約3 mmになるようにセンサーを傾け、ナイロントイでしっかりと固定します。



- ② ホイールマグネットとセンサーゾーン（スピード側）の隙間が約3 mmになるようにセンサーアームを回転して調整し、センサーネジをしっかりと締付けて固定します。



#### 4. 各部を固定します

センサーのナイロンタイ、センサーネジ、マグネットをしっかりと締付け、緩みがないことを確認します。

はみ出したナイロンタイはカットします。

※ スチールシャフトのペダルを使用している場合、ケイデンスマグネットはペダルシャフトに磁力で固定できます。この場合はマグネットの粘着テープを除去してください。

## よくある質問と答え

### 計測できない：センサーダイレクトモード計測のとき

計測画面にならない

画面下段が回転していませんか？

- ・ MODEを1秒間押してください。センサーダイレクトモードの計測画面に移行します

センサー信号を受信しない  
(Cateye Cycling™をご使用の場合)

スマートフォンのCateye Cycling™メニューで接続が [ON] になっていませんか？

- ・ [OFF] にするかCateye Cycling™を終了してください。

センサーとペアリングを行いましたか？

- ・ センサーはストラダスマートとのペアリングが必要です。

 **ストラダスマート：センサーとのペアリング**

Bluetoothセンサーと接続する他のスマートフォンアプリを同時に使用していませんか？

- ・ Bluetoothセンサーがスマートフォンと接続している可能性があります。  
Bluetoothセンサーは1つのデバイスとしか接続しない特性があります。アプリの使用を中止する、またはアプリの設定でBluetoothセンサーを接続しないように変更してください。

iPhoneと他社製センサーをお使いですか？

- ・ 他社製センサーはストラダスマートで再度ペアリングする必要があります。  
スピード計測可能なセンサーの場合はタイヤ周長も同様です。

 **ストラダスマート：センサーとのペアリング**

 **ストラダスマート：タイヤ設定**

お使いのセンサーはBluetooth Smartセンサーですか？

- ・ Bluetooth Smartセンサー以外の信号は受信できません。

センサーの電池が消耗していませんか？

- ・ 新しい電池に交換してください。

 **電池の交換：オプションセンサー**

スピードセンサーとマグネットの位置関係は正しいですか？

- ・ センサーの取扱説明書をご覧になり、正しく取付けてください。

 **スピードセンサーの取付け (ISC-12)**

センサー信号を受信しない  
(ストラダスマートのみでご使用の場合)

センサーとペアリングを行いましたか？

- ・ センサーはストラダスマートとのペアリングが必要です。

 **ペアリング：センサーとのペアリング**

---

**お使いのセンサーはBluetooth Smartセンサーですか？**

- ・ Bluetooth Smartセンサー以外の信号は受信できません。

---

**センサーの電池が消耗していませんか？**

- ・ 新しい電池に交換してください。

 **電池の交換：オプションセンサー**

---

**スピードセンサーとマグネットの位置関係は正しいですか？**

- ・ センサーの取扱説明書をご覧になり、正しく取付けてください。

 **スピードセンサーの取付け (ISC-12)**

## 計測できない：センサーダイレクトモード計測のとき

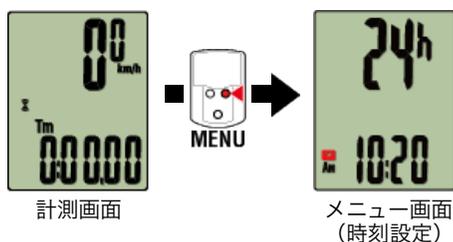
### ペアリング

ストラダスマートで受信するセンサーをペアリングします。

#### 重要

- ・ センサーの使用には、必ずペアリング（センサーID照合）が必要です。
- ・ ペアリングは、レース会場など複数の使用者がいる場所では行わないでください。他のセンサーとペアリングする恐れがあります。
- ・ 使用するセンサーはすべてペアリングしてください。

#### 1. 計測画面からMENUを押してメニュー画面に切替えます



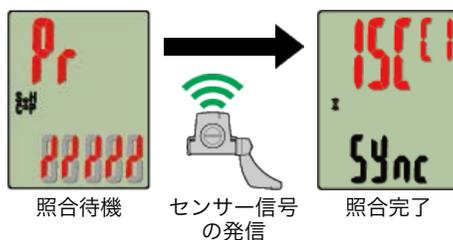
※ メニュー画面は1分間放置すると計測画面に戻ります。

#### 2. MODEを押して図の画面を表示させ、MODEを2秒間押します



#### 3. ペアリングするセンサー信号を発信させます。

##### センサー信号の発信方法



照合したセンサーを画面上段に表示し、ペアリングが完了します。

#### 重要

画面に【FULL】を表示してメニューに戻る場合：ストラダスマートでペアリングできるセンサーは最大9IDです。この場合は照合待機状態でMENUを4秒間押し続け、すべてのペアリングを消去します。その後、改めて必要なセンサーをペアリングしてください。

※ ペアリングの待受時間は5分間です。この間にセンサー信号を発信させてください。

---

#### 4. MENUを押してペアリングを確定します

引続き、他のセンサーとペアリングする場合は、同じ操作を繰り返してください。  
もう一度、**MENU**を押すと計測画面に戻ります。

※ 設定を変更した場合は、必ず**MENU**を押して変更内容を確定してください。

## 計測できない：センサーダイレクトモード計測のとき

### タイヤ設定

スピード計測可能なセンサーにタイヤ周長を設定します。

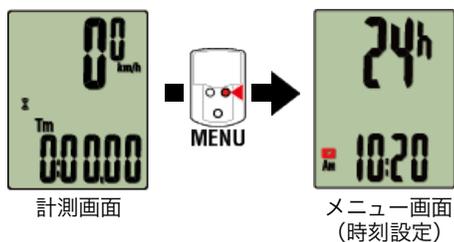
#### 重要

- ・ 事前にセンサーのペアリング（センサーID照合）が必要です。

#### ペアリング（センサーID照合）

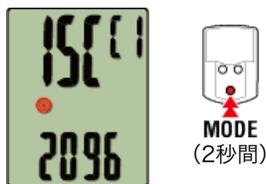
- ・ タイヤ周長はセンサー毎に設定してください。初期値は2096 mm (700x23c)が割当てられています。

### 1. 計測画面からMENUを押してメニュー画面に切替えます



※ メニュー画面は1分間放置すると計測画面に戻ります。

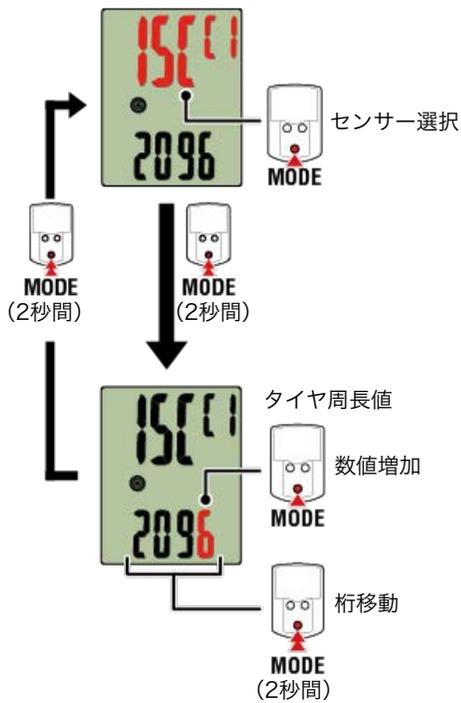
### 2. MODEを押して (タイヤアイコン) を表示させ、MODEを2秒間押しします



### 3. 周長を設定するセンサーを選び、タイヤ周長を入力します

センサー装着側のタイヤ周長（タイヤの外周長さ）をmm単位で入力します。  
(設定範囲：0100～3999 mm)

#### タイヤ周長の求め方



※ ペアリング済みのセンサーのみ選択できます。

※ 設定範囲外の数値を入力するとErrorが表示されます。

---

#### 4. MENUを押して設定を確定します

もう一度、**MENU**を押すと計測画面に戻ります。

※ 設定を変更した場合は、必ず**MENU**を押して変更内容を確定してください。

計測できない：センサーダイレクトモード計測のとき

## スピードセンサーの取付け (ISC-12)

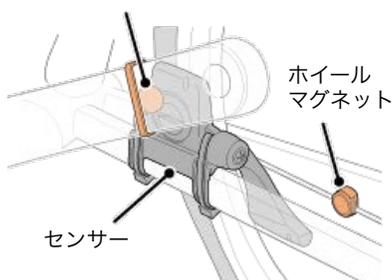
センサーはチェーンステアの上側・下側どちらでも取付け可能です。

動画で見る

静止画で見る

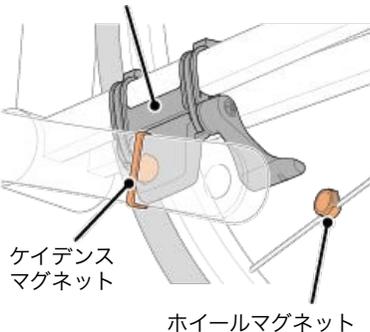
### チェーンステア上側に取付けた場合

ケイデンスマグネット



### チェーンステア下側に取付けた場合

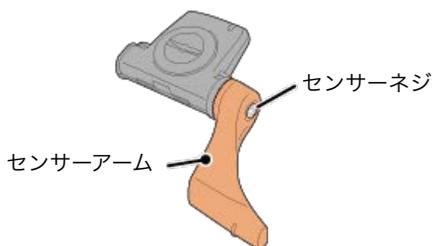
センサー



※ 取付手順は、チェーンステア上側の取付けを例に説明しています。

## 1. センサーを左チェーンステアに仮止めします

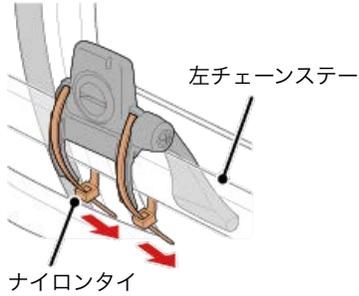
- ① プラスドライバーでセンサーのセンサーネジを緩め、センサーアームが動くことを確認します。



- ② センサーにセンサーゴムパッドを取付けます。



③ 図を参考に左チェーンステーにナイロンタイで仮止めします。

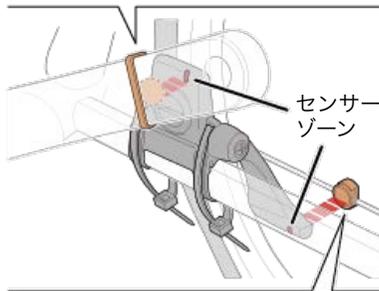
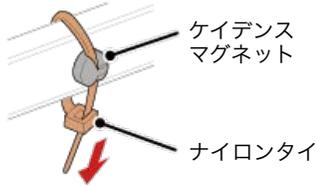


### 注意

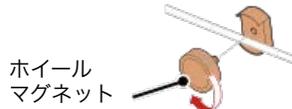
ナイロンタイは完全に締付けないでください。  
一旦締付けると引抜くことはできません。

## 2.マグネットを仮止めします

クランク内側



スポーク



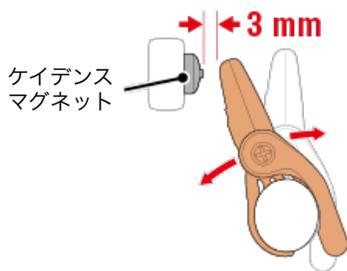
① センサーゾーン（ケイデンス側）に対面するようにクランク内側にケイデンスマグネットをナイロンタイで仮止めします。

② センサーアームを回転させ、センサーゾーン（スピード側）に対面する位置のスポークにホイールマグネットを仮止めします。

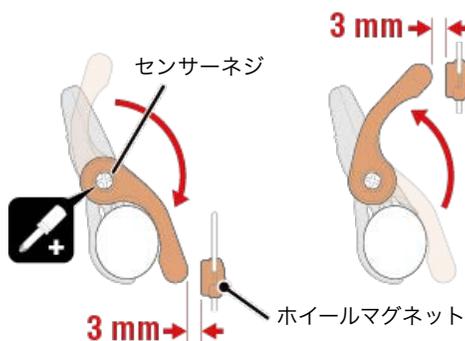
※ センサーが両方のマグネット（スピード/ケイデンス）との位置関係を確保できない場合は、センサーとマグネットの位置を移動して各センサーゾーンにマグネットが対面するように調整します。

## 3.センサーゾーンとマグネットの隙間を調整します

① ケイデンスマグネットとセンサーゾーン（ケイデンス側）の隙間が約3 mmになるようにセンサーを傾け、ナイロンタイでしっかりと固定します。



- ② ホイールマグネットとセンサーゾーン（スピード側）の隙間が約3 mmになるようにセンサーアームを回転して調整し、センサーネジをしっかりと締付けて固定します。



#### 4. 各部を固定します

センサーのナイロンタイ、センサーネジ、マグネットをしっかりと締付け、緩みがないことを確認します。

はみ出したナイロンタイはカットします。

※ スチールシャフトのペダルを使用している場合、ケイデンスマグネットはペダルシャフトに磁力で固定できます。この場合はマグネットの粘着テープを除去してください。

## よくある質問と答え

### 計測できない：心拍数が計測できない

画面の H が点滅しない

**電極パッドが身体から離れていませんか？**

- ・ 電極パッドが身体に密着するように装着してください。

---

**肌が乾燥していませんか？**

- ・ 電極パッドを少し湿らせます。

---

**電極パッドが長期間の使用で劣化損傷していませんか？**

- ・ 装着ベルトを新しい物と交換してください。

よくある質問と答え

計測できない：パワー

画面の P が点滅しない

パワーセンサーの取付条件を満たしていますか？

- ・ パワーセンサーの取扱説明書をご覧になり、正しく取付けてください

## 取扱いおよびサポート

### ご注意

#### ストラダスマート/オプションセンサー

- ・ 走行中は、ストラダスマートやスマートフォンに気を取られないで、安全走行を心がけてください。
- ・ ブラケット・センサー類はしっかりと自転車に取付け、緩みがないことを定期的に点検してください。
- ・ ストラダスマートは炎天下に長時間放置しないでください。
- ・ ストラダスマートは絶対分解しないでください。
- ・ ストラダスマートは落下させないでください。損傷の原因となります。
- ・ ブラケットバンドのダイヤル部は必ず手で締付けてください。工具などで強く締めるとネジ山がつぶれる恐れがあります。
- ・ ストラダスマートや付属品を拭くとき、シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めるので使わないでください。
- ・ 指定以外の電池を使用すると破裂の危険性があります。使用済みの電池は各地域によって定められた方法で処理してください。
- ・ 液晶画面の特性として、偏光レンズサングラスでは表示が見えにくくなります。

#### Cateye Cycling™

ストラダスマートはスマートフォン用アプリ「Cateye Cycling™」と連動して計測や設定が行えます。アプリケーションのダウンロードおよび利用には通信料が発生するためWi-Fiの活用をお勧めします。

### メンテナンス

ストラダスマートや付属品が汚れたら、薄い中性洗剤を湿らせた柔らかい布で拭いた後、から拭きしてください。

シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めるので使わないでください。

### 標準部品/オプション部品

#### 標準部品

1602194

ブラケットキット



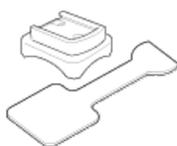
1600280N

ブラケットバンド



1602193

ブラケット



**1665150**

リチウム電池 (CR2032)



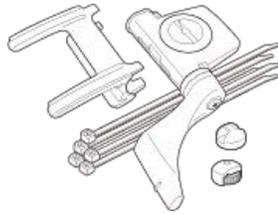
---

## オプション部品

The Bluetooth word mark and logos are owned by the Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by CATEYE Co., Ltd. is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.

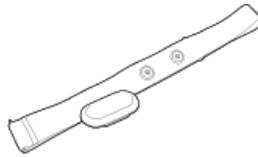
**1603970**

スピードセンサー  
(ISC-12)



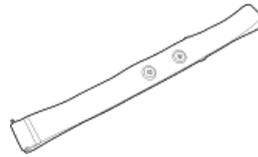
**1603980**

心拍センサー (HR-12)



**1603595**

装着ベルト



**1604100**

アウトフロントブラケット



**1603892**

スリムブラケットキット



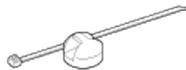
**1699691N**

ホイールマグネット



**1699766**

ケイデンスマグネット



**1603893**

ラバーバンド・ナイロントай



製品仕様

---

## 使用電池／電池寿命

・ ストラダスマート :

リチウム電池 (CR2032) ×1

／約5ヶ月 (ISC-12、HR-12をペアリングして1日1時間使用した場合)

- ・ **心拍センサー (HR-12) :**  
リチウム電池 (CR2032) ×1  
／約5ヶ月 (1日1時間使用時)
- ・ **スピードセンサー (ISC-12) :**  
リチウム電池 (CR2032) ×1  
／約5ヶ月 (1日1時間使用時)

※ あらかじめ装着されている電池はモニター用のため、上記の寿命より短い場合があります。

※ 電池寿命はセンサーのペアリング数や使用状況により短くなる場合があります。

---

#### 制御方式

マイクロコンピュータ (水晶発振器)

---

#### 表示方式

液晶表示

---

#### 走行速度・ケイデンス検知方式

無接触磁気センサー (ISC-12)

※ 走行速度はスマートフォンのGPSでも計測できます。

---

#### センサー信号送受信方式

Bluetooth 4.0

---

#### 通信範囲

## m

---

#### スピードセンサータイヤ周長範囲

0100 mm ~3999 mm

(初期値 : 2096 mm)

---

#### 使用温度範囲

0 °C ~40 °C

※ 使用温度範囲外で使用すると表示の視認性が悪化する場合があります。

---

#### 寸法・重量

- ・ **ストラダスマート :**  
47 x 32 x 13.2 mm / 17 g
- ・ **心拍センサー (HR-12) :**  
31 x 62.5 x 11.8 mm / 16.6 g
- ・ **スピードセンサー (ISC-12) :**  
70.4 x 86.3 x 23.5 mm / 19.2 g  
(アーム部を下に向けた場合)

※ 仕様および外観は、改良のために予告なく変更することがあります。

### 保証規定

#### 2年間保証

- ・ ストラダスマート本体
- ・ ISC-12 スピード/ケイデンスセンサー
- ・ HR-12 心拍センサー  
(付属品及び電池の消耗は除く)

正常な使用状態で故障した場合は、無料修理・交換いたします。お送りいただく前にEメール・お電話などで弊社カスタマーサービスにお問い合わせください。返品にあたっては、お客様の連絡先・故障状況などを明記の上、ご購入日が確認できる領収書のコピーな

どを添えて、当社宛てに直接お送りください。ご購入日が特定できない場合、保証期間は製造年月日から起算させていただきます。事故などによる外的要因や取扱説明書に記載していない用途・方法での誤使用による要因では保証の対象外となります。なお、お送りいただく際の送料はお客様にてご負担願います。修理完了後、送料弊社負担でお届けさせていただきます。

**【宛先】**

株式会社キャットアイ カスタマーサービス  
〒546-0041 大阪市東住吉区桑津2丁目8番25号  
TEL : (06)6719-6863 ダイヤルイン  
FAX : (06)6719-6033  
Eメール : support@cateye.co.jp

## 法律に基づく注意

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

### NOTE:

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Under Industry Canada regulations, this radio transmitter may only operate using an antenna of a type and maximum (or lesser) gain approved for the transmitter by Industry Canada. To reduce potential radio interference to other users, the antenna type and its gain should be so chosen that the equivalent isotropically radiated power (e.i.r.p) is not more than that necessary for successful communication.

Conformément à la réglementation d'Industrie Canada, le présent émetteur radio peut fonctionner avec une antenne d'un type d'un gain maximal (ou inférieur) approuvé pour l'émetteur par Industrie Canada. Dans le but de réduire les risques de brouillage radioélectrique à l'intention des autres utilisateurs, il faut choisir le type d'antenne et son gain de sorte que la puissance isotrope rayonnée équivalente (p.i.r.e) ne dépasse pas l'intensité nécessaire à l'établissement d'une communication satisfaisante.

This device complies with Industry Canada licence-exempt RSS standard(s).

Operation is subject to the following two conditions:

- (1) this device may not cause interference, and
- (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes:

- (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et
- (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.